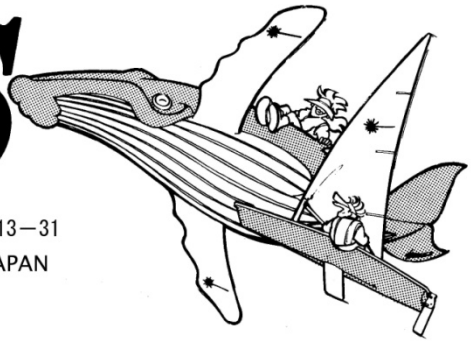
Japan Laser Class Association OCT./2018 No.234

News



一般社団法人
日本レーザークラス協会 事務局：〒252-1114 神奈川県綾瀬市上土棚南３丁目13－31
Head Office:3-13-31 Kamitsuchitana-Minami, Ayase, Kanagawa 252-1114 JAPAN
Tel&Fax：0467-76-1103 Email：info@laserjapan.org
Website:http://www.laserjapan.org/

土居愛実選手 アジア大会金メダルおめでとう！！！

2018 Laser All Japan Championships 公示、クリニックレポート

Manami wins Gold at Asian Games 2018

まなみちゃん圧倒的強さでゴールドメダル　アジア大会（ジャカルタ/インドネシア）

２位 中国　３位 マレーシア　https://www.jsaf.or.jp/hp/j-sailing?pid=12950

Laser Beam

まず初めに、先般の台風 21 号、そして北海道胆振東部地震の報に接し、心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早いご復興をお祈り申し上げます。

私は生まれも育ちも福島の、GM 間近のマスターズです。

LaserNews バックナンバーで検索しました。30 歳の頃、1994 年９月にワールド使用艇を手に入れ、見よう見まねでレーザーを始めました。デビューは、翌年 10 月の秋の東北選手権（松島）で、乾杯や雑魚寝の友ができました。しかし、いつの間にか、メリハリなく、なんとなく続けているようになりました。東日本大震災の年、負けてたまっか。と有志で声をかけ合い、志田浜オープンを開催。皆さんからの励ましが心の支えとなりました。

2014 年、転機が訪れます。大先輩から「猪苗代で全日本マスターズやってみませんか～」と打診があり、名ばかりフリートキャプテンの私に電気が走りました。観念して、まぁいっちょやってみっか。と、下見に訪れた新居浜で、実にいろいろと楽しさを教わりました。レースはピリッと、レセプションや表彰式は和気あいあいと……。とてもいい経験をさせていただきました。今では、お祭りの準備も含めて楽しみが広がり、新たな出会いを求めて方々足を延ばすようになりました。

前述の志田浜オープン。おかげさまで８回目の今年は、60 艇を超える参加となりました。ぜひキャンプ気分で遊びに来てけろ～。

（監事　佐藤正志）

協会広報

2018 Laser All Japan Championships 参加資格獲得者リスト

2018 Laser All Japan Championships　のクオリファイ選手一覧は以下の URL で確認することができます。

http://www.laserjapan.org/archives/category/all-japan-championship/list

※　海外選手への参加資格付与「強化委員会承認」を行いました。

２０１７年１２月０１日 公示
２０１８年０８月３１日 修正
日本レーザークラス協会 強化委員会

2017-2018 年レーザー・ランキング/クォリファイ対象大会一覧

開催時期	大会番号	対象大会	開催地	クラス別日本ランキング対象(*1)			ユース選考対象(*2)		クオリファイ	(参考) 前年度
				Std	Rad	4.7	Rad	4.7	(*3)	参加総数
2017/11	2018-01	Laser All Japan Championships	光	1	1	1	1	2	-	144
2017/11	2018-24	秋の東北選手権	松 島	3	3	3			○	23
2017/12	2018-20	クリスマスレガッタ	江ノ島		3	3		2	○	39
2018/02	2018-04	ミッドウィンター・レガッタ	江ノ島	2	2	2	2	2	○	94
2018/03	2018-18	YMFS セーリング・チャレンジカップ	三ヶ日		3	3	2	2	○	42
2018/03	2018-08	四国選手権	高 松	2	2	2			○	56
2018/04	2018-19	東京ベイカップ	稲 毛	3	3	3			○	39
2018/05	2018-06	JOC ジュニアオリンピック・カップ	唐 津		2	2	1	1	○	71
2018/05	2018-07	中部選手権	三 保	2	2	2			○	63
2018/05	2018-16	ジ・アイ・カップ	芦 屋	3	3	3			○	47
2018/05	2018-12	九州選手権 兼 筑前芦屋カップ	柏原漁港	2	2	2			○	28
2018/06	2018-14	北海道選手権	銭 函	2	2	2			○	23
2018/06	2018-11	東北選手権	猪苗代	2	2	2			○	36
2018/06	2018-05	関東選手権	江ノ島	2	2	2			○	73
2018/07	2018-17	めんたいカップ	津屋崎	3	3	3			○	45
2018/07	2018-22	境港オープンレガッタ	境 港	3	3	3			○	-
2018/07	2018-15	湘南カップ	材木座	3	3	3			○	48
2018/07	2018-25	JOC ジュニアオリンピックカップ(和歌山)	和歌山		3	3			○	16
2018/07	2018-21	ユース・サマーレガッタ	江ノ島		3	3			○	34
2018/08	2018-23	秋の九州選手権	福 岡	3	3	3			○	24
2018/09	2018-26	秋の北海道選手権	網走湖	3	3	3			○	12
2018/09	2018-02	江ノ島オリンピック・ウィーク	江ノ島	1	1	1			○	106
2018/09	2018-03	全日本マスターズ選手権	辰巳ヶ浦	2	2	2			○	97
2018/09	2018-10	北信越選手権	野尻湖	2	2	2			○	38
2018/09	2018-27	国民体育大会	福 井						○	154
2018/10	2018-13	関西選手権	柳ヶ崎	2	2	2			○	26
2018/10	2018-09	中国選手権（※クオリファイ対象外）	下 関	2	2	2			-	42

(*1) 枠内の数字はクラス別日本ランキング対象大会 JLCA グレードを示す　　2018 年 8 月現在
(*2) 枠内の数字はユース選考ランキング対象大会グレードを示す
(*3) 2018 Laser All Japan Championships クオリファイ対象大会
(注 1) ランキング対象大会及びグレード等は変更となる可能性がある

2019 年レーザー・スタンダード/ラジアルクラス 世界選手権代表選手選考方針

2018 年 9 月 30 日　公示
日本レーザークラス協会 強化委員会

１．概要

2019 年における代表選考方針を決定しました。2018 年からの変更点は以下の通りです。またユース種目（ラジアルクラスユース、４.７クラスユース）については、昨年同様「2018 年レーザー・ラジアルユース/４.７ユース世界選手権等代表選手選考方針」として別途公示されます。

(1) 参加枠の手続き方法（ラジアルユース、４.７ユースを除く）

A. レーザー・スタンダードクラスおよびラジアルクラス女子について 2018 年度は World Sailing 主催の他のオリンピッククラスと同時開催の世界選手権であった為 NF（JSAF）からまとめてエントリー手続きを行いましたが、2019 年からは従来の ILCA 主催の世界選手権となるため、通常の手続き(ILCA のサイトからアプリケーションを行う)に戻ります。

B. 各クラス共に、日本に割り当てられる通常の枠数に加え、割当枠数に満たない国が出た場合の追加枠の取得も積極的に行います。手順としては、世界選手権に参加を希望する選手は各自で ILCA のサイトからアプリケーションを行います。その後強化委員会にて、選考方針に基づき各選手の参加優先順位を ILCA に報告します。追加枠を含め最終的に ILCA に認められた数の選手が世界選手権に参加出来ます。

(2) クラス別日本ランキングシステムの導入

全日本等単一大会へのクオリファイ枠に加え「クラス別日本ランキングシステム」を導入し、ランキングに基づいて世界選手権へのクオリファイを割り当てます。ランキング対象大会には主要大会はもちろん地域選手権も多く盛り込まれており、地域選手権の活性化が期待できるとともに、クオリファイ大会に参加できなくとも他の大会に数多く参加することでランキング上位を目指せば世界選手権への道が開かれることとなります。

２－１．レーザー・スタンダードクラス男子代表選考

(1) 世界選手権の代表選手を下記要領で選考する。
ILCA から付与された枠の数に基づき日本選手について、下記の通りクラス協会にて参加枠の優先順位付けを行う。

① 2019 年度ナショナルチームに付与
：最大２枠（注１）
② 2018 年 Laser All Japan Championships　（11 月　境港　）
：５枠
③ 2018－2019 年レーザークラス
クラス別日本ランキング（注２）
：総国枠数から上記①～②の割当て数を減じた数

（注１）JSAF オリンピック強化委員会にて認定される。詳細については JSAF オリンピック強化委員会発表の 2019 年ナショナルチーム選考公示を参照のこと。
JSAF オリンピック強化委員会 NT 選考公示：
http://jsaf-osc.jp/selection/selection-005.php
（注２）ILCA が大会毎に設定するアプリケーション締切日時点での最新のランキングを参照する。
３．（６）も併せて参照すること。

２－２．レーザー・ラジアルクラス女子代表選考

(1) 世界選手権の代表選手を下記要領で選考する。
ILCA から付与された枠の数に基づき日本選手について、下記の通りクラス協会にて参加枠の優先順位付けを行う。

① 2019 年度ナショナルチームに付与
：最大２枠（注１）
② 2018 年 Laser All Japan Championships　（11 月　境港　）
：５枠
③ 2018－2019 年レーザークラス　クラス別日本ランキング（注２）
：総国枠数から上記①～②の割当て数を減じた数

(2) ヨーロッパ選手権（注３）の代表選手を下記要領で選考する。
EurILCA（注４）から付与された枠の数に基づき日本選手について、下記の通りクラス協会にて参加枠の優先順位付けを行う。

① 2019 年度ナショナルチームに付与
：最大２枠（注１）
② 2018 年 Laser All Japan Championships　（11 月　境港　）
：総国枠数 から上記①の割当て数を減じた数

（注１）JSAF オリンピック強化委員会にて認定される。詳細については JSAF オリンピック強化委員会発表の 2019 年ナショナルチーム選考公示を参照のこと。
JSAF オリンピック強化委員会 NT 選考公示：
http://jsaf-osc.jp/selection/selection-005.php
（注２）ILCA が大会毎に設定するアプリケーション締切日時点での最新のランキングを参照する。
３．（６）も併せて参照すること。
（注３）Laser Senior European Championships & Trophy 2019
（５月・ポルトガル）
（注４）European Region of ILCA

２－３．ラジアルクラス男子及びU21 代表選考

世界選手権の代表選手を下記要領で選考する。

(1) 事前登録（協会への通知、アプリケーション実施）

世界選手権に参加を希望する選手は、アプリケーション締切日(NOR に記載)までに各自にて ILCA サイトからアプリケーションを行うと共に、クラス協会強化委員会宛にその旨通知する。

(2) アプリケーションを実施した選手への優先順位付け

アプリケーション期間終了後、ILCA からの依頼に基づき登録されている日本選手について、下記の通りクラス協会にて参加枠の優先順位付けを行う。

●ラジアルクラス男子及び U21（スタンダード男子･ラジアル女子）

① 2018－2019 年レーザークラス
クラス別日本ランキング（注１）
：総国枠数

（注１）ILCA が大会毎に設定するアプリケーション締切日時点での最新のランキングを参照する。
３．（６）も併せて参照すること。

(3) 代表選手の決定

ILCA にて最終的に日本に割り当てられた数の選手に対し、代表権が付与される。
代表となった選手は速やかにエントリー手続きを行う。

３．クラス別日本ランキングシステム

ISAF Ranking System(Fleet Racing)に概ね準拠した、クラス別の日本ランキングを導入する。

(1) ランキング開始時期

2016 年 Laser All Japan Championships より開始し、月末時点にて過去 1 年間以内の大会が有効

(2) ランキング対象大会

別途公示される「2019 年レーザー・ランキング/クオリファイ対象大会一覧」に記載。

(3) ランキング対象クラス

スタンダード／ラジアル／４.７
（注）クラス毎の総合ランキングにおいては、年齢及び性別の区別は行わない

(4) ランキングポイント計算方法

ランキングポイント = E(N-P+1)/N
数式の説明:
E = Event Rank (200, 100, 50)
JLCA 大会グレード 1: 200 点
JLCA 大会グレード 2: 100 点
JLCA 大会グレード 3: 50 点
N = 対象大会のエントリー数(Number of Entries)
P = 対象大会における総合順位(Position in regatta)

(5) ランキングポイント付与対象

クラス協会に年間登録しており、ランキング対象大会において参加艇数の上位 70%以内(小数点以下は四捨五入)の成績を収めた選手に対し上記ランキングポイントを付与する。

(6) ランキングの決定

選手派遣事案の発生が予測された場合、または発生した場合、毎月の月末時点を起算日とした過去１年間のランキング対象大会におけるベスト５大会のランキングポイントを合計し、トータルポイントの多い順にランキングを決定する。
例：アプリケーション締切日が７月 20 日の場合、６月末時点でのランキングが対象となる。

(7) 年間ランキングの表彰

前年度の全日本から当年度の全日本開催前までの１年間のランキングについて、当年度の全日本選手権において以下のカテゴリ毎に最上位者を表彰する。

・スタンダードクラス　総合／マスターズ
・ラジアルクラス　総合／レディース／ユース／マスターズ
・４.７クラス　総合／レディース

(参考)ISAF Ranking System (Fleet Racing) – Method of Calculation -
http://www.sailing.org/rankings/fleet/method_of_calculation.php

４．全クラス 共通事項

(1) 参加艇数について

大会会場に来なかった選手もしくは全レース DNC となった艇については、参加艇数としてカウントしない。

(2) 選考大会成立レース数

指定大会において、成立レース数が３レース未満の大会は選考対象としない。
ただし、クラス別日本ランキングにおいて、成立したレガッタについては実施レース数に関わらずカウント対象とする。

(3) 指定大会における選考資格者がその資格を辞退した場合について

選考された大会の最終成績順に下位選手へ繰り下げる。それぞれの繰り下げについては当該大会の参加艇数の上位 30%以内(小数点以下は四捨五入)までとする。それでも対象者がいない場合は、クラス別ランキングから選定する。

(4) 選考資格者が複数の選考審査項目において獲得する権利を有する場合

指定大会における権利獲得を優先する。指定大会が複数ある場合は大会番号の若い順から選考する。ただし、権利保有者がナショナルチームに認定された場合は、ナショナルチームに付与される枠を優先して割り当てるものとし、指定大会における権利は４．（３）に順じて繰り下げるものとする。

(5) 選考委員会について

選考委員会の構成はレーザークラス協会強化委員長、強化副委員長、強化委員及び強化委員会依頼のコーチで構成される。

(6) 世界選手権等出場枠の配分について

①小数点以下については四捨五入で算定する。
②ILCA からの参加枠付与が減少した場合、別途公示される「2018 年レーザー･ランキング/クオリファイ対象大会一覧」にある大会番号の若い順から選考枠を付与する。

(7) タイの解き方

選考大会総合成績及びランキングにおいてタイが発生した場合は、別途公示される「2018 年レーザー・ランキング/クオリファイ対象大会一覧」にある大会番号の若い順の成績からタイを解く。

(8) レーザークラス協会会員登録について

各選考大会に参加する選手については、レーザークラス協会への会員登録を必須とする。

５．その他

(1) 国際大会派遣等について

選考大会が実施できない場合、もしくは選考大会不成立等により代表選手を決定できない場合は、最終の選考大会実施時点でのクラス別日本ランキングの上位選手より代表を決定し、JSAF オリンピック強化委員会へ推薦する。

(2) 本選考方針及び最新ランキング等の更新情報

日本レーザークラス協会の Web サイトに随時掲載される。
日本レーザークラス協会： http://www.laserjapan.org/

(3) 本件についての質疑等

日本レーザークラス協会強化委員会あてメールもしくは FAX にて問合せ
日本レーザークラス協会強化委員長　佐々木共之
電子メール アドレス ： ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp
FAX ：０４６７－７６－１０５２

(参考)　2019 年レーザークラス世界選手権一覧 (2018 年 9 月現在)

https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-list　参照

2019 ILCA Laser Standard Men's World Championship
Tuesday 2 July 2019 - Tuesday 9 July 2019
JAPAN, Sakaiminato-City

2019 ILCA Laser Radial Women's World Championship
Wednesday 17 July 2019 - Wednesday 24 July 2019
JAPAN, Sakaiminato-City

2019 ILCA Laser Radial Men's World Championship
Wednesday 17 July 2019 - Wednesday 24 July 2019
JAPAN, Sakaiminato-City

2019 ILCA Laser Under-21 World Championships
Saturday 26 October 2019 - Saturday 2 November 2019
CROATIA, Split

<2020 年レーザークラス世界選手権一覧>

2020 ILCA Laser Standard Men's World Championship
Sunday 9 February 2020 - Sunday 16 February 2020
AUSTRALIA, Melbourne

2020 ILCA Laser Radial Women's World Championship
Friday 21 February 2020 - Friday 28 February 2020
AUSTRALIA, Melbourne

2020 ILCA Laser Radial Men's World Championship
Friday 21 February 2020 - Friday 28 February 2020
AUSTRALIA, Melbourne

2019 年レーザー・ラジアルユース/4.7ユース 世界選手権代表選手選考方針

2018 年９月 30 日　公示
日本レーザークラス協会 強化委員会

１．概要
2019 年における代表選考方針を決定しました。2018 年からの変更点は以下の通りです。

(1) レーザー４.７ユースの選考大会を一部変更
レーザー４.７ユースについては、選考大会の内 2019 年５月に唐津にて開催予定の JOC ジュニアオリンピック大会に変えて、2019 年４月下旬に津にて開催予定のスプリング・レガッタ(仮称)に変更します。

２．ユース代表選考
２－１．ラジアルユース世界選手権（男女）及び４.７ユース世界選手権（男女）
代表選手を下記要領で選考する。
下記（３）の大会及び（４）のラジアル／４.７ユース選考ランキング上位者から世界選手権代表選手を決定する。世界選手権代表選手は JSAF オリンピック強化委員会に JSAF 補助対象選手として推薦する。
(1) ラジアルユースおよび４.７ユース世界選手権出場枠数
①ラジアルユース　　男子４枠／女子２枠
②４.７ユース　　男子４枠／女子２枠
＊枠数の決定：ILCA より配分され日本レーザークラス協会強化委員会が決定した枠数とする。
＊枠数の変更：JSAF 補助対象選手数が代表枠数を下回った場合、代表枠数を削減しＪＳＡＦ補助対象選手数と同一とする。
(2) JSAF 補助対象選手数 / 補助内容
JSAF オリンピック強化委員会が決定し公示
＊ラジアルユース／４.７ユースにおいては補助内容が異なる場合がある。

(3) 代表候補選手選考大会
①ラジアルユース：2019 年 JOC ジュニアオリンピックカップ大会上位者１名
（男女区別なし）（５月 唐　津）
②４.７ユース：2019 年スプリングレガッタ上位者１名
（男女区別なし）（４月　　津　）

(4) ラジアルユース／４.７ユース選考ランキング
下記大会で獲得したランキングポイントの合計を使用する。
●ラジアルユース：
①2018 年 Laser All Japan Championships　（11 月　境　港）
②2019 年 ミッドウィンター選手権　　（２月　　光　）
③2019 年 YMFS セーリング・チャレンジカップ
（３月　浜名湖）
④2019 年 JOC ジュニアオリンピックカップ
（５月　唐　津）

●４.７ユース：
①2018 年 Laser All Japan Championships　（11 月　境　港）
②2018 年クリスマスレガッタ　　（12 月　江ノ島）
③2019 年ミッドウィンター選手権　　（２月　　光　）
④2019 年 YMFS セーリング・チャレンジカップ
（３月　浜名湖）
⑤2019 年スプリング・レガッタ(仮称)　（４月　　津　）

(5) ランキング・ポイント
クラス別ランキングシステムと同様の計算方式に基づくポイントを付与する。ただし大会グレードについては、添付１「ユース選考ランキング対象大会一覧」を参照のこと。

ランキングポイント = E(N-P+1)/N
数式の説明:
E = Event Rank (100, 50)
JLCA ユース大会グレード 1: 100 点
JLCA ユース大会グレード 2: 50 点
N = 対象大会のエントリー数(Number of Entries)
P = 対象大会における総合順位(Position in regatta)

(6) ランキングポイント付与対象
クラス協会に年間登録しており、ランキング対象大会において参加艇数の上位 70%以内(小数点以下は四捨五入)の成績を収めた選手に対し上記ランキングポイントを付与する。
上位 70%に入らなかった選手には参加ポイントとして１点を付与する。４大会以上に出場した場合はベスト３大会のポイントの合計を使用する。なお４大会以上に参加した選手には、特別加算ポイントとして１大会毎に 0.5 点を付与する

(7) 身体能力測定ポイントの加算について
身体能力測定は、ラジアルユースについては 2019 年 JOC ジュニアオリンピックカップ（2019 年５月唐津）、４.７ユースについては 2019 年スプリングレガッタ(仮称)併催の強化練習会にて実施し、添付２「身体能力測定得点表」に基づき合計得点（最大 15 点）をランキングポイントとして付与する。実施要領については、別途公示される「2019 年度身体能力測定 実施要領」を参照。

２－２．冬季海外遠征（ラジアルユース(男女)／４.７ユース(男女)）
代表選手を下記要領で選考する。代表者は JSAF オリンピック強化委員会に JSAF 補助対象選手として推薦される。当該海外遠征は対象クラスの強化を目的としていることから、代表選手は 2019 年レーザーラジアルユース世界選手権もしくはレーザー４.７ユース世界選手権への参加の意思があり且つ対象年齢条件を満たす者であること、当該クラスでの活動が主であり、2019 年開催の世界選手権に向けてクラス協会もしくは JSAF が主催する強化合宿／練習会への参加が基本的に可能であることを条件とする。

(1) 選考大会
①2018 年 Laser All Japan Championships(11 月 境港)
(2) 冬期海外遠征代表枠数
①ラジアルユース　男子２枠／女子２枠　（注１）
②４.７ユース　　男女各１枠　　（注１）
（注１）最終エントリー状況により派遣艇種の代表者枠数を変更する場合がある

２－３．2019 年 ユース・セーリング・ワールド
（ラジアルユース　男女各１枠）

選考方法については、JSAF オリンピック強化委員会発表のレース公示を参照のこと。
JSAF オリンピック強化委員会： http://jsaf-osc.jp/

３．全クラス 共通事項

(1) 参加艇数について

大会会場に来なかった選手もしくは全レース DNC となった艇については、参加艇数としてカウントしない。

(2) 選考大会成立レース数

指定大会において、成立レース数が３レース未満の大会は選考対象としない。
ただし、ユース選考ランキングにおいて、成立したレガッタについては実施レース数に関わらずカウント対象とする。

(3) 指定大会における選考資格者がその資格を辞退した場合について

選考された大会の最終成績順に次点の下位選手へ繰り下げる。それ以降はユース選考ランキング上位者から選定する。

(4) 選考資格者が複数の選考審査項目において獲得する権利を有する場合

ユース選考ランキングにおける権利獲得を優先する。指定大会における枠の付与は次点まで繰り下げを行うが、それ以降はユース選考ランキング上位者から選定する。
ただし、２－１.（１）にて指定された枠数を超える繰り下げは行われない。

(5) 選考委員会について

選考委員会の構成はレーザークラス協会強化委員長、強化副委員長、強化委員及び強化委員会依頼のコーチで構成される。

(6) 世界選手権等出場枠の配分について

①小数点以下については四捨五入で算定する。
②ILCA からの参加枠付与が減少した場合、指定大会における権利獲得者を優先することとし、残りの枠についてはユース選考ランキング上位者から選考枠を付与する。

(7) タイの解き方

選考大会総合成績及びランキングにおいてタイが発生した場合は、添付１「ユース選考ランキング対象大会一覧」にある大会番号の若い順の成績からタイを解く。

(8) レーザークラス協会会員登録について

各選考大会に参加する選手については、日本レーザークラス協会への会員登録を必須とする。

４．その他

(1) 国際大会派遣等について

選考大会が実施できない場合、もしくは選考大会不成立等により代表選手を決定できない場合は、最終の選考大会実施時点でのクラス別日本ランキングの上位選手より代表を決定し、JSAF オリンピック強化委員会へ推薦する。但しラジアルユース、４.７ユースについてはラジアルユース選考ランキング、４.７ユース選考ランキング結果を優先する。

(2) 本選考方針及び最新ランキング等の更新情報

日本レーザークラス協会の Web サイトに随時掲載される。
日本レーザークラス協会： http://www.laserjapan.org/

(3) 本件についての質疑等

日本レーザークラス協会強化委員会あてメールもしくは FAX にて問合せ
日本レーザークラス協会強化委員長　佐々木共之
電子メール アドレス:ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp
FAX　　：０４６７－７６－１０５２

添付１ユース選考ランキング対象大会一覧(2018 年９月現在)

大会番号	対象大会	開催時期	開催地	大会グレード For Youth Rad	大会グレード For Youth 4.7	Event Rank For Youth Rad	Event Rank For Youth 4.7	備考
Y-1	JOC ジュニア・オリンピック・カップ	2019/05	唐 津	1	-	100	-	Radial 最終選考
Y-2	スプリング・レガッタ(仮称)	2019/04	津	-	1	-	100	4.7 最終選考
Y-3	Laser All Japan Championships	2018/11	境 港	1	2	100	50	
Y-4	YMFS セーリング・チャレンジカップ	2019/03	浜名湖	2	2	50	50	
Y-5	ミッドウィンター・レガッタ	2019/02	光	2	2	50	50	
Y-6	クリスマス・レガッタ	2018/12	江ノ島	-	2	-	50	

(注)　ユース選考ランキング対象大会及びグレード等は変更となる可能性がある

添付２　身体能力測定得点表(2018 年９月現在)

性別	得点	シャトルラン 20m	反復 横とび	腹筋	斜懸垂	腕立て 伏せ	握力
男	3 点	110 回	—	70 回	25 回	50 回	—
	2 点	100 回	65 回	60 回	20 回	35 回	—
	1 点	90 回	60 回	50 回	15 回	25 回	55kg
	0.5 点	85 回	55 回	45 回	10 回	15 回	50kg
女	3 点	90 回	—	60 回	20 回	35 回	—
	2 点	80 回	55 回	50 回	15 回	25 回	—
	1 点	70 回	50 回	45 回	10 回	15 回	40kg
	0.5 点	60 回	45 回	40 回	5 回	10 回	35kg

*実施要領及び最新情報については、別途公示される「2019 年度身体能力測定 実施要領」を参照
測定当日の天候及び参加人数等の状況により、実施しない項目が発生する可能性がある
(得点例)

		シャトルラン 20m	反復 横とび	腹筋	斜懸垂	腕立て 伏せ	握力	合計
男	A	110 回	66 回	62 回	25 回	27 回	53kg	
(Rad)		3 点	2 点	2 点	3 点	1 点	0.5 点	11.5 点
女	B	68 回	50 回	46 回	12 回	25 回	42kg	
(4.7)		0.5 点	1 点	1 点	1 点	2 点	1 点	6.5 点

男Ａに、ランキングポイントとして 11.5 点が加算される。
女Ｂに、ランキングポイントとして 6.5 点が加算される。

添付３　2019 年レーザー級世界選手権一覧 (2018 年９月現在)

2019 ILCA Laser Radial Youth World Championships
Wednesday 24 July 2019 - Wednesday 31 July 2019
CANADA, Kingston

2019 ILCA Laser 4.7 Youth World Championships
Friday 16 August 2019 - Friday 23 August 2019
CANADA, Kingston

＊最新情報については、ILCA の Web サイトを確認願います。
https://sailing.laserinternational.org/public/site/event-list

添付４　2019 年 Laser４.７Youth/Radial Youth/U21 世界選手権への参加資格 (対象年齢)

Age*	12	13	14	15	16	17	18	19	20
Birth Year**	2007	2006	2005	2004	2003	2002	2001	2000	1999
Laser 4.7	UNDER 16				UNDER 18				
Laser Radial Youth				UNDER 17		UNDER 19			
Laser Radial Women						UNDER 21			
Laser Standard Men						UNDER 21			

*世界選手権開催年に競技者が迎える年齢

**2019 年世界選手権に参加資格のある競技者の誕生年

<Laser４.７対象年齢>

2002 年１月１日～ 2007 年 12 月 31 日までに生まれた者

<Laser Radial Youth 対象年齢>

2001 年１月１日～ 2004 年 12 月 31 日までに生まれた者

<Laser Radial Women/Standard Men U21 対象年齢>

1999 年１月１日～ 2002 年 12 月 31 日までに生まれた者

添付５　2018-2019 年 Youth 関連イベント

49th Youth Sailing World Championship 2019
Gdynia Poland
http://www.worldsailingywc.org/about/venues.php

2019 Australian Youth Championships
10-14 January 2019 Australian Youth Championships
Venue: Tasmania Australia

以上

2019 年身体能力測定 実施要領

2018 年９月 30 日　公示
日本レーザークラス協会 強化委員会

1. はじめに

2009 年３月の ISAF ユースワールド代表選考会から導入を開始した身体能力測定は、現在まで継続的に各選考会、合宿等において実施してきました。近年においては選考大会の最終戦である JOC(５月唐津)にて実施しており、現在までの実績から体力的要素の重要性が理解され、基礎的体力の向上に有効な効果を生み出してきています。このことから、2019 年度についても身体能力測定は実施しますが、測定項目、評価方法、評価基準について一部改正を行うこととしました。

2. 測定項目について

身体能力測定は、ユースからナショナルチームまでの一貫性を図るため、成長期である対象選手の特性を考慮し、自重での負荷を使用した測定項目を採用しました。

3. 測定項目と設定根拠

【文部科学省新体力測定に準ずるもの】
持久走→60～80 分のレースを戦い抜くためには、持久的能力が必要である
腹筋→ハイクアウトの主動筋として必要である
また、腰痛の対策として腹筋の強化は重要である
反復横とび→敏捷性はセーリングにおける基本技術に必要である
握力→シート、ティラー、コントロールロープの調整に必要な基礎的要素である

【競技特性を考慮し採用したもの】
懸垂→上腕の牽引力はシート、ティラー操作に必要である。また、安全面においても自体重を上腕で支えることが必要である
大胸筋テスト　腕立て伏せ→上体の筋量はハイクアウトにおけるモーメント力向上に必要である

4. 評価方法

評価方法について、各測定項目において基準を達成したかどうかで加点を行います。
測定項目毎に、
・最低限、達成することが求められる基準をクリアした場合は、１点を付与
・非常に高いレベルで基準を達成した場合は、３点を付与
・上記中間点に２点を付与
としています。具体的には、以下の各項目の得点表をもとに点数を算出します。項目毎の得点を合計したものを、身体能力測定のランキングポイントとして直接付与します。

5.評価基準

身体能力測定得点表(2018 年 9 月現在)

性別	得点	シャトルラン 20m	反復横とび	腹筋	斜懸垂	腕立て伏せ	握力
男	3 点	110 回	—	70 回	25 回	50 回	—
	2 点	100 回	65 回	60 回	20 回	35 回	—
	1 点	90 回	60 回	50 回	15 回	25 回	55kg
	0.5 点	85 回	55 回	45 回	10 回	15 回	50kg
女	3 点	90 回	—	60 回	20 回	35 回	—
	2 点	80 回	55 回	50 回	15 回	25 回	—
	1 点	70 回	50 回	45 回	10 回	15 回	40kg
	0.5 点	60 回	45 回	40 回	5 回	10 回	35kg

*測定当日の天候及び参加人数等の状況により、実施しない項目が発生する可能性がある

（得点例）

		シャトルラン 20m	反復横とび	腹筋	斜懸垂	腕立て伏せ	握力	合計
男	A	110 回	66 回	62 回	25 回	27 回	53kg	
(Rad)		3 点	2 点	2 点	3 点	1 点	0.5 点	11.5 点
女	B	68 回	50 回	46 回	12 回	25 回	42kg	
(4.7)		0.5 点	1 点	1 点	1 点	2 点	1 点	6.5 点

6. 問合せ先

本件についての質疑等については、日本レーザークラス協会強化委員会あてメールもしくは FAX にて問い合わせ願います。

日本レーザークラス協会強化委員長　佐々木共之
電子メール アドレス ： ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp
FAX　　：０４６７－７６－１０５２

7. 測定要領

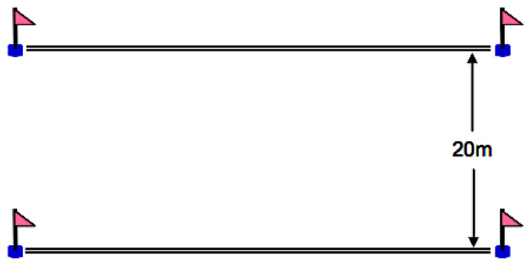
7.1. 全身持久力：20m シャトルラン

【目的、確認ポイント】
レースを通じて、集中力を維持するための全身持久力。

【準備】
テスト用 CD またはテープ、再生用プレーヤー、20m 間隔の２本の平行線

【方法】
（１）プレーヤーにより CD(テープ)再生を開始する。
（２）一方の線上に立ち、テストの開始を告げる５秒間のカウントダウンの後の電子音によりスタートする。
（３）一定の間隔で、１音ずつ電子音が鳴る。電子音が次に鳴るまでに 20m 先の線に達し、足が線を越えるか、触れたらその場で向きを変える。この動作を繰り返す。電子音の前に線に達してしまった場合は、向きを変え、電子音を待ち、電子音がなった後に走り始める。
（４）CD(テープ)によって設定された電子音の間隔は、初めはゆっくりであるが、約１ 分ごとに電子音の間隔は短くなる。すなわち、走速度は約１ 分ごとに増加していくので、できる限り電子音の間隔についていくようにする。
（５） CD(テープ)によって設定された速度を維持できなくなり走るのをやめたとき、または、２回続けてどちらかの足で線に触れることができなくなったときに、テスト終了する。 なお、電子音からの遅れが１回の場合、次の電子音に間に合い、遅れを解消できれば、テストを継続することができる。

【記録】
テスト終了時(電子音についていけなくなった直前)の折り返しの走回数を記録とする。ただし、２ 回続けてどちらかの足で線に触れることができなくなったときには、最後に触れることができた折り返しの総回数を記録とする。



7.2. 俊敏性：反復横とび（20sec）

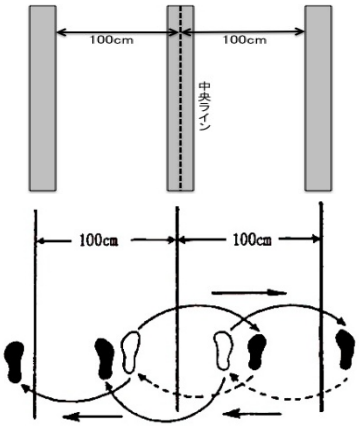
【目的、確認ポイント】
（１）俊敏性、および素早い身のこなし
（２）動きの左右差

【準備】
ストップウォッチ。中央ラインとその両側 100cm のところに２ 本の平行ラインを引く。

【方法】
中央ラインをまたいで立ち、「始め」の合図で左側(右側)のラインを越すか、または、踏むまでサイドステップし(ジャンプしてはいけない)、次に中央ラインに戻り、さらに右側(左側)のラインを越すかまたは触れるまでサイドステップを 20 秒間繰り返す。測定場所は、滑りにくい場所にて実施する（土などの滑りやすい場所は避ける)。
測定実施回数は２回行う（20sec×２)。

【記録】
上記の運動を 20 秒間繰り返し、それぞれのラインを通過するごとに１点を与える(例：右、中央、左、中央で ４点になる)。20 秒での各記録を計測する。スタート時の中央ラインはカウントに含まない。
２回実施した記録のうち良い方を記録として採用する。
計測員は、２名にて実施する。(時計計測係１名、20 秒の計測係１名)

以下の場合は、無効点とする。
・外側のラインを踏まなかったとき、または越えなかったとき。
・中央ラインをまたがなかったとき。



7.3. 筋力：膝伸展腹筋

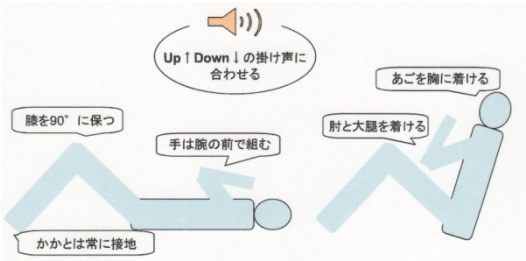
【目的、確認ポイント】
腹筋等（腸腰筋、腹筋群）の持久力

【準備】
ストップウォッチ

【ポジショニング】
（１）マット上で仰臥姿勢をとり、両手を軽く握り、両腕を胸の前で組む。両膝の角度を 90 度に保つ。
（２）あごを引き胸元に付ける。
（３）足かかと部分が常に接地した状態で実施する。
（４）補助者なし。

【動作】
(1) 「Up」の合図で、仰臥姿勢から、両肘と両大腿部がつくまで上体を起こす。「Down」の合図で、上体を下げる。
(2) その際、反動は付けないで実施。

【記録】
疲労困憊に至るまでの回数を記録する。
＊２ 秒間隔で屈曲・伸展が行われる、最大回数を測定



7.4. 筋力：斜懸垂

【目的、確認ポイント】
広背筋、上腕二頭筋等の筋持久力
疲労困憊時における、引き動作の左右差

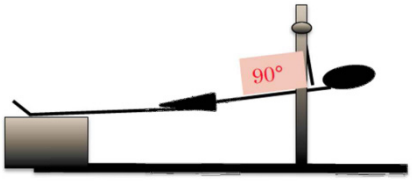
【準備】
鉄棒、ストップウォッチ、足の補助台

【ポジショニング】
（１） 握り幅は、肩幅より広く取る。
（２） 腕を伸ばしバーにぶらさがり(順手で持つ)、腕と体幹の角度を 90 度にする。
（３） 両膝は肩幅に開いて伸ばし、身体を真っ直ぐに保持する。

【動作】
（１） 肘関節最大屈曲時にあごがバーを越えるようにする(タッチでも良い)。
（２） その後、肘関節最大伸展を行う。

【規定】
（１） 屈曲伸展は、各１秒間隔で行う(掛け声により指示)。「Up」で上腕屈曲を行い、バーを越えた後「Down」で完全伸展を行なう。
（２） 下肢の反動は使わない。
（３） バーを越えてアゴがバーにタッチ(タッチした)回数のみカウントする。

【記録】
疲労困憊に至るまでの回数。
以下の場合は無効とする。
・テンポに２秒以上遅れた場合は終了とする。
・身体が一直線に保持できず腰が屈曲したとき。
・アゴがバーにタッチできなかったとき。



※足に台を乗せて高さの調整をしても構わない

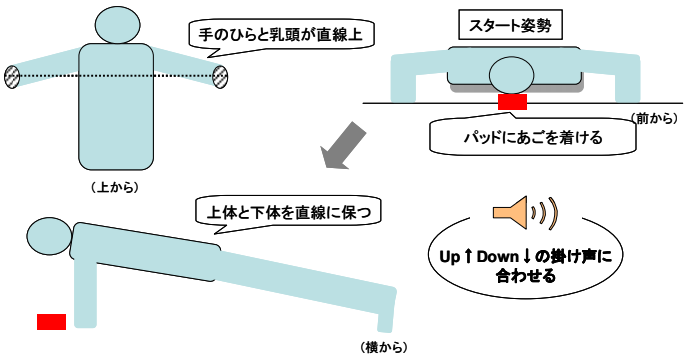
7.5. 大胸筋テスト(腕立て伏せ)

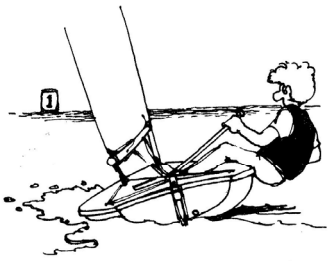
【ポジショニング】
（１） 乳頭を結んだ線上に手のひらが位置する。
（２） つま先は地面につける
（３） 膝を着け、手を着けた状態で最大屈曲時の肘関節が 90 度になるよう手幅を調整する。
（４） 上腕は体側から離す。
（５） 上体と下体は直線状に維持。
（６） 上体を下げた時に、あごがあたるようにパッドを置く。

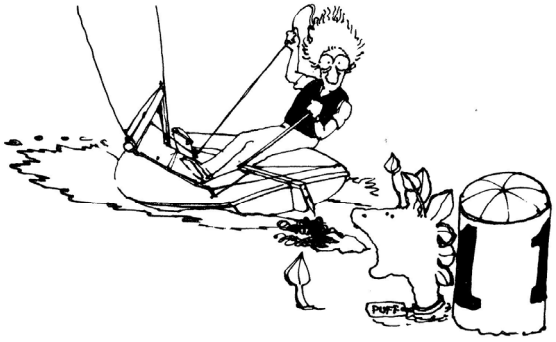
【動作】
（１） 肘関節最大屈曲時にあごをパッドにつける。
（２） その後、肘関節最大伸展を行う。
（３） 上体と下体は直線状に維持したまま行う。

【規定】
屈曲伸展は一定リズム（おおむね２秒に１回）で行う
(掛け声により指示)。

【記録】
疲労困憊に至るまでの回数を記録する。
＊実施リズムに２回連続遅れた時点で終了とする。
＊屈曲・伸展動作をアップ・ダウンの掛け声で行う
（２秒間隔で屈曲・伸展が行われる）
屈曲時のあごの接地位置にパッドを置く





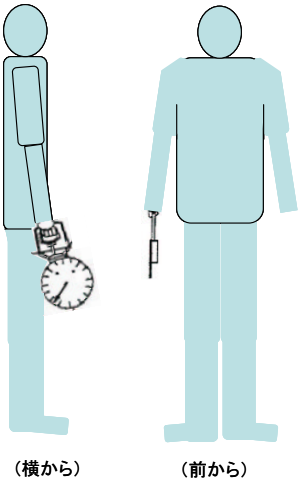


7.6. 握力

【準備】
握力計

【方法】
（1） 握力計の指針が外側になるように持ち、図のように握る。この場合、人差し指の第 2 関節が、ほぼ直角になるように握りの幅を調節する。
（2） 直立の姿勢で両足を左右に自然に開き腕を自然に下げ、握力計を身体や衣服に触れないようにして力いっぱい握りしめる。この際、握力計を振り回さないようにする。

【記録】
（1） 左右交互に実施する。
（2） 記録はキログラム単位とし、キログラム未満は切り捨てる。
（3） 左右の平均の記録。



以上

.....Laser on the INTERNET.....

日本レーザークラス協会ホームページ
http://www.laserjapan.org
日本レーザークラス協会ホームページは協会と各委員会からのオフィシャルな広報をはじめ、レガッタの案内からレーザーNews のバックナンバーまでさまざまな情報を見ることが出来ます。

レーザーEメイルリスト
全国のレーザーセイラーが情報や話題を交換するオープンなメイリングリストです。
参加登録は協会ＨＰ_http://www.laserjapan.org
表紙右上「レーザーメーリングリストへの参加」からお名前、メールアドレスを入力後、参加ボタンを押して下さい。

国際レーザークラス協会(ILCA)ホームページ
http://www.laserinternational.org
国際レース情報やクラスルール、各国の活動などレーザーに関する世界中の最新情報がここに集まります。

Sponsors

MUSTO Performance Sailcraft Japan

ROOSTER

Patio Systems

AptSystem Co. Ltd. Application Process Technology

RUIFAN JAPAN

KENTAKU ESTATE PLANNING

2018 年度　第２回レーザークリニック
（7/15～16 福島県猪苗代湖）

青空の下でのブリーフィング

陸上で艤装の仕方、マーキングのコツなどをレクチャー

7/15～16 の２日間、猪苗代湖志田浜で 2018 年度第２回目のレーザークリニックを開催しました。
普段地元で活動されているセイラー、高校ヨット部でレーザーに乗り始めたユースセイラーを中心に、総勢 23 名の選手が集まりました。

ユースセイラーはまだレーザー初心者の子も多く、艤装もままならなかったことから、まずは「乗りやすい、走りやすい艇を作る」をテーマにクリニックを開始いたしました。基本的な艤装の方法から、乗りやすい艇をつくるためのチューニング方法、トップセイラーはどんな事を考えて艤装を行っているか等のコツをレクチャーしました。

湖面に出てからは、ウォームアップからの基本動作の確認、フォロー・ザ・リーダー、ゲートスタートからのスピード練習、ダウンウィンドスタートからのマーク回航、スタート練習など、密度の濃い練習を行いました。

帰着後は、撮影した動画を使ってミーティングを実施しました。トップセイラーの走らせ方を見ながら、良い点、悪い点をひとつひとつ確認しました。特に、ユースセイラーは自分ではできていると思っていたことが、動画で見るとできていないことに刺激を受けたようです。

今回のクリニックでは、地元の有志の方が、レセプションを企画頂きました。夜はテントの中で盛大に盛り上がり、選手間、コーチ間の交流を深めました。

ミーティング中に聞けなかったこと、動作のコツ、上手くなるための練習方法など、舌を潤すこともままないほど質問攻めを受けました。クリニック終了後に参加した選手に感想を尋ねたところ、「知らなかった事がたくさんあり、目から鱗だった」「もっと上手になりたい」「このまま１ヶ月くらい合宿を続けたい」など、強い意欲を感じました。これを機に、東北セイラーのレベルが UP することを願っております。

今後も強化委員会では各地でクリニックを開催していきます。是非皆さんご参加ください。

（強化委員会メンバー　廣瀬一貴）

マークを使った基本動作の練習。
「この練習は初めて知った」という参加者がほとんどでした。

ダウンウィンドスタートからのマーク回航。
密集したなかでのトレーニング。

【以下、参加者の声】

昨年の中部クリニック（津）で大いに刺激を受け、今回もクリニックに参加させていただきました。

佐々木コーチ、廣瀬コーチ。
てんこ盛りのアドバイスと熱血指導、ありがとうございました。
また保科 KYC 会長をはじめ、運営ボランティアの皆様のおかげで、すばらしい時間を過ごすことができました。
以下、なるほどなぁ～と心の中にメモったこと。

〇準備が大事。
・無駄無理のない艤装
・次の展開に向けたチューニング
・正確なハンドリングのための動作
・体幹を鍛える

〇声を掛け合い、息を合わせるといい練習になる。
・フォロー・ザ・リーダーからの４点回航
・ゲートスタート
・スタートでフェイスを合わせる（バングで行き足をコントロール）

〇座学や懇親会で、様々な場面の動画を巻き戻し解説付でジーッと観る。
・面で抑えるハイクアウト
・クローズでのフラット感を磨く
・当て舵で艇を前に出す
・タック、ジャイブ、スネーキング
・スタートラインやマークの確認

バンバン刺激を受けましたので、課題を楽しみながらセーリングしたいと思います。とりあえずスクワット始めました！

（猪苗代フリート　佐藤正志）

集合写真。参加者のみなさま、お疲れ様でした。

2018 年度　第３回レーザークリニック
（８/４～５　福井県若狭和田マリーナ）

軽風コンディションでしたが 酷暑のなか しっかりトレーニングできました

外の気温に負けずに熱く講義する佐々木強化委員長

実際に乗艇してのシミュレーション

スタートラインでの他艇やピンエンドの見え方のチェック

８/４，５の２日間、福井県若狭和田マリーナで 2018 年度第３回目となるレーザークリニックを開催しました。このクリニックは老若男女すべてのレーザーセーラーを対象に実施しており、日本レーザー界全体のレベル向上をねらいとしています。

今回のクリニックは今年の福井国体の開催地で実施され、またレーザーラジアル級が新たに採用されたインターハイの直前での開催であったこともあり、各地から総勢 21 名（内、マスターズ９名）が参加しました。マスターズの方々にもクリニックが徐々に認知され、参加者が増えてきています。

このクリニックの特徴としては、朝・昼・夕のミーティングを比較的重視しています。これは、ただ漫然と長時間乗り込むことだけに注力しがちなレーザーセーラーに対し、まずは知識を習得し、自身の課題を明確にしてもらったうえで、海上練習に取り組んでもらいたいと考えているからです。

今回は屋外での活動を控えるようにと注意喚起されるような記録的な猛暑の中でしたが、高い透明度を誇る美しい若狭の海でハンドリング練習、スピード練習、スタート練習、コース練習などに取り組みました。参加した皆様からは充実した練習だったとのコメントを受けており、今後もより充実したクリニックとしていきたいと思います。

ここで参加者からコメントを貰いましたので、一部をご紹介します。

＜知多Ｆ南原さん＞
・基本的なバングの使い方やスタート前の動きなどを体系立てて考えることができ、今後の練習で取り組むための情報を得ることができました。

＜境港Ｆ宮脇さん、西尾さん、西本さん＞
・インターハイ前に軽風のクローズの走り方や微風時のメインシートを使ったジャイブの動作が確認できて良かった。
・スタート前にフリーウォーターを確保するなどの注意点が分かりました。
・普段なかなか練習できない混戦でのマーク回航の練習ができ、自分の課題が明確になりました。

最後になりますが、クリニックの準備をして頂いた三国Ｆの湯浅さんをはじめとする福井県セーリング連盟の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

（強化委員会メンバー　知多フリート　永井久規）

2018 年度　第４回レーザークリニック
（９/１～２　三重県津ヨットハーバー）

よく吹く津の予定でしたが、あいにくの微風。

最後だけ良い風になりました

熱心に聴講する参加者の面々

最後は質問が途切れませんでした

９/１、２の２日間、三重県津ヨットハーバーで 2018 年度第４回目となるレーザークリニックを開催しました。
ラジアル級および４.７級の計 20 名の選手が参加しました。

初日は朝から激しい雷雨だったため、午前の海上練習を見合わせ、座学としました。スタートを課題としている選手が多いこともあり、選手全員でスタート前にチェックすべきこと・していることを洗い出しました。スタートラインの傾きだけでなく、潮流の角度や速度、ラインの見通しなど、チェックの項目や調べ方も選手ごとに千差万別で、各選手だけでなく我々コーチ陣も新たな気づきがあるほど、実りの多い内容となりました。

午後からは風は弱いものの、雷雨は収まり、海上練習を行うことができました。ウォーミングアップ・ハンドリング練習に始まり、午前に学習したスタートを試しました。朝から２時間以上もスタートに関する議論をしたことから全選手のスタートに対する意識が高まっており、白熱したポジション争いが見られました。着艇後のミーティングでは良いポジションをキープするための操船テクニックやスタート前のケースに関するルールの質問などが多くあり、選手の技術レベルが一段高くなった印象でした。

二日目は朝から無風。艤装のチェックや軽風時のセーリングフォームについて、陸上でコーチが実際に乗艇して確認を行いました。レーザーでは軽風時にはコックピットよりも前に乗らないと水船長が最大にならず、またスターンを引きずってしまい、抵抗をふやしてしまいます。コックピット内に収まらない乗り方となるため、独特で窮屈な乗り方を強いられます。前方に乗りながらヒールバランスがキチンと取れる乗り方を皆で確認しました。

午後からは風が順調に上がってくることを期待したものの、予報に反して雨交じりの軽風が続きました。軽風のなかではありましたが、スタートの次に課題意識の高い「艇団のなかでのポジショニング」に焦点を当てたコース練習を行いました。スタート後の競り合いを想定したトレーニングを行うためにマークをあえて左にオフセットさせたり、上マークの混戦を創出するために、あえて右にオフセットさせたりしました。また、ダウンウィンドスタートを使って混戦した下マークを意識的に作るトレーニングも行いました。練習の後半になると熱くなったマスターズからユースに大人気ない！？声が飛び交うなど、レベルの高い練習になりました。

最後の最後だけではありましたが、15 ノット程度の良い風も入り、ハイクアウトも堪能することができました。着艇後のミーティングでは、途切れなく質問があり、２日間みっちり充実したクリニックを行うことができました。

最後になりますが、加藤会長や鈴木哲子（旧姓：長谷川）さんなど津フリートの皆さんに支えられ、クリニックを開催することができました。ありがとうございました。

（強化委員会メンバー　知多フリート　永井久規）

2018 ILCA Laser ４．７ Youth World Championships
（７/９～17　POLAND, Gdynia）

私は７月９日～17 日ポーランドで開催されたレーザー４.７級世界選手権に出場させて頂きました。今大会が初めての海外遠征という事もありとても楽しみで有ったと同時に不安も多くとても緊張しました。また、男女合わせて 400 艇を超える艇の多さとハーバーには溢れんばかりの支援艇の多さにも圧倒されました。

今回の日本代表チームは男子４名・女子２名の選手６名と男性コーチ２名の８名でした。遠征の初日は時差ぼけの解消も兼ねて、ポーランド（グダニスク）の街を歩き身体をほぐしながら少しだけ観光を楽しみ、大会前の緊張や不安が少しだけほぐれました。

宿泊は、ハーバー近くの一軒家（レントハウス）で食事は自炊です。部屋数も多くトイレやシャワールームもあり快適な環境で過ごすことが出来ました。

しかしここで痛恨のミスが発生！（反省）
１台しかない洗濯機を使用する際にコーチの気遣いで先に女子組が使って良いとのお言葉に甘え、女子２人はシャワーを済ませ洗濯機を回させて頂きました。部屋で洗濯機が止まるのを待つこと数分の間に私たちは深～い眠りについてしまったのです。男性陣は洗濯機を開ける事も出来ず、洗濯を断念！！翌日からは女子の洗濯は男子の後に変更となってしまいました。（笑）
国内での直前強化合宿では海外のチャーター艇でも日本と同じセイルメイクが出来るようにシート類に目印を付ける事を学んでいたので、現地でのチャーター艇の艤装には困ることなく準備が出来ました。

大会前半の予選シリーズでは、シフティーな風に苦戦し、微風の時に発生するチャッピーな波に艇を合わせる事や風域に合わせて細かくセットチェンジが出来なかった事で、順位を維持することが出来ず目標であったゴールドフリートに残ることが出来ませんでした。
今大会での課題はスタートでした。スタート直後のクローズでトップスピードへ持って行くのが遅れてトップ集団から離されてしまう事が多くありました。原因としてはメインシートの引込みが遅い事とバングをセットしてフルハイクするまでの時間がトップ選手に比べ遅い点にありました。レース後半は、その点を意識して良いスタートが切れるようになりました。
また、初めての海外遠征ということで、環境の変化に対応が遅れたり、長時間の風待ちや陸上待機に集中力を持続する事が難しかったです。
結果、女子シルバー　５位（77 艇）総合 83 位と目標には届きませんでしたが、初めての海外遠征そして世界大会を経験させて頂き今後の活動に向けてとても良い経験をさせて頂きました。まだまだ課題は多く有りますが、これからもたくさん練習して上を目指して行きます。
世界選手権に向けて多くのご指導、ご声援を頂きありがとうございました。

（清水フリート　山﨑彩加）

参加国数：男子 42 ヶ国　/　女子 35 ヶ国
参加艇数：男子 275 艇　/　女子 155 艇

レース結果 Regatta Results

●協会認定公式記録●

湘南カップ　（7/15　材木座）
暑い夏は熱いレースと美味しいレセプション♪

ラジアル完全優勝の小林選手の入念な藻チェック

朝から安定したシーブリーズが吹いていて、厳しい暑さの中のレースとなりました。遠方からもはるばる遠征していただき、20 艇近くのレーザーが材木座の浜に並ぶいつもと違った景色は、とても嬉しくテンションも上がります！

先にスタートはラジアル＆４.７クラス。１レース目以外は、潮の影響か、極端な下有利スタート。ボートスピードの差でスタート直後から小屋選手と小林の一騎打ちになりました。序盤リードされてもフリーで巻き返し、１位小林、２位小屋選手、安定したスコアで３位中島選手、４位大村選手、５位に２レース目に２着をとった中村選手でした。

４.７クラスは４艇と少し寂しく、すべてのレースで順位が変わらず服部選手が優勝、２位に竹腰選手が入りました。

スタンダードクラスは、後からのスタートで状況が全く分からなかったので聞いてみたところ、細かく振れる南の軽風の中、常に吹き出しと艇団の間にうまくポジショニングしていた藤本選手が優勝。彼はオーストラリアのパースに留学していて冬休みで帰国中だそうです！　２位の粟野選手は軽風のボートスピードがキレキレで沈んでも必ず上がってきていました！　３位から５位が接戦でしっかりまとめた大塚選手、気持ちで勝った木村選手、気持ちで負けた匠選手の順でした（齋藤匠選手　談）

そして、レースよりも楽しみにしていた人も多いであろうレセプション。山形シェフが何日も前から準備してくれた、本格的な料理がふるまわれました。いつも争奪戦になるハンバーグは、１グラムの誤差も許されないというセーリングではみられない（？）緻密さで皆に行きわたるように作ってくれたそうです（アシスタント直美さん　談）

表彰式＆大じゃんけん大会が行なわれたのち、江の島の若者をおじ様たちが囲んで話し込んでいるところを発見。材木座名物「説教」が始まったのかと近寄ってみると、今日のレースやセーリングライフについて和気あいあいと話していたので安心しました。気軽に楽しく参加できる湘南カップ。来年もぜひ遊びに来てください♪

（材木座フリート　小林紫帆）

スタンダードのスタート、優勝の藤本選手がロケットスタート！

4.7優勝の服部選手。ジャンケンも強い！

スタンダードクラス

順位	氏名	協会No.	Sail No.	フリート	1R	2R	3R
1	藤本　拳	5954	215038	江ノ島	1	1	2
2	粟野　和昭	4588	199069	逗葉	5	2	3
3	大塚　邦弘	4943	172270	逗葉	2	11	1
4	木村　俊介	6394	208615	材木座	4	8	4
5	齋藤　匠	5626	198855	材木座	9	3	5
6	大川　晃弘	6280	109377	江ノ島	7	6	7
7	藤井　章一郎	5423	210518	三国	3	10	9
8	齋藤　隆士	1013	98855	長浜･三戸浜	15	4	11
9	清水　二二男	6433	215035	長浜･三戸浜	6	12	13
10	宮田　一志	5803	205101	江ノ島	12	13	10
11	国谷　浩	5893	214406	材木座	8	14	14
12	北川　邦弘	5519	184057	逗葉	13	9	15
13	伊東　裕之	3440	164999	逗葉	14	17	8
14	田島　憲一郎	4279	205100	材木座	11	16	12
15	都　茂樹	3867	211049	TokyoBay	10	DNF	6
16	山内　俊夫	3530	167322	材木座	22	7	17
17	笹谷　優	3866	181193	江ノ島	21	5	UFD
18	松永　義昭	3857	203080	逗葉	16	19	21
19	堀田　学	5653	207993	材木座	17	15	RET
20	南雲　達弥	6237	158576	逗葉	18	24	18
21	山下　力蔵	5208	211037	材木座	19	21	20
22	穴見　正雄	5407	182305	材木座	20	22	22
23	渡邉　真	6377	211911	逗葉	23	18	24
24	諸橋　春雄	3196	148504	逗葉	24	23	19
25	古内　祐介	申請中	139640	蒲郡	26	20	25
26	押井　猛	6376	204485	芦屋	25	25	23

ラジアルクラス

順位	氏名	協会No.	Sail No.	フリート	1R	2R	3R
1	小林　紫帆	5977	154076	材木座	1	1	1
2	小屋　英美里	5578	173423	江ノ島	2	7	2
3	中島　優輝	6334	207418	江ノ島	4	5	3
4	大村　杏奈	6285	151791	江ノ島	6	3	4
5	中村　迅之介	6382	140814	江ノ島	7	2	8
6	原　幸一	1681	184001	江ノ島	5	6	7
7	水野　孝	NA	9906	スポット会員	3	12	5
8	宮下　万寿夫	6031	145692	江ノ島	9	10	6
9	目黒　たみを	5306	207439	TokyoBay	11	4	13
10	小川　真司	3102	79545	江ノ島	10	8	10
11	大成　賢二	5358	178199	津	8	13	11
12	大塚　紀芳	6490	127393	江ノ島	14	14	9
13	鈴木　万三	6212	209502	江ノ島	13	11	14
14	向井　博	5424	112015	江ノ島	12	15	12
15	滝野　洲平	4877	196468	江ノ島	DNF	9	15

4.7クラス

順位	氏名	協会No.	Sail No.	フリート	1R	2R	3R
1	服部　陸太		180159	江ノ島	1	1	1
2	竹腰　真紀子	3082	5	材木座	2	2	2
3	石田　李咲子	6429	127398	江ノ島	3	3	3
4	小原　奏慧	6472	66016	若洲	4	4	4

いつも薄着の穴見選手。夏が似合う！

境港オープンレガッタ（7/15～16　鳥取県境港市）
今年の全日本＆来年のワールド開催地でレース！

広い海と大山（だいせん）と米子鬼太郎空港へ到着する飛行機

今回の大会は、参加艇数は少なかったですが、ラジアルで絶対に優勝することでした。

僕は、強風で波がある海面に自信があります！！なので、境港の海風＝東風の６ｍ以上を期待していましたが、３日間のうち期待した風が吹いたのは初日の２レースだけ... それ以降は、僕にとっては苦手な風でしたが、なんとか安定した成績で優勝することが出来ました！３日間、振れも多く、風が安定しない中、運営をしてくださった方々、遠方からレースに参加していただいた方々、本当にありがとうございました。

今大会で見つけた課題を克服して、これからある国体や全日本で上位を走れるようにこれからも頑張ります！

11 月には、2019 レーザーワールドの開催地でもあるここ境港で全日本レーザーがあります！全国各地のレーザーメンバーの方々と境港でレースが出来ることが本当に楽しみです！心待ちにしております！

（境港フリート　西尾将輝）

スタンダードクラス

順位	氏名	セールNo.	フリート	協会No.
1	福田 育弘	166990	芦屋	4969
2	豊島 以知朗	211031	光	5916
3	荒岡 晃彦	211030	大阪北港	6272
4	中尾 周史	161285	淡輪	5014
5	柏木 規孝	152689	境港	6467
6	松谷 俊一	148532	境港	4220
7	坂本 健太郎	143324	境港	確認中
8	角 佳典	152688	境港	5035

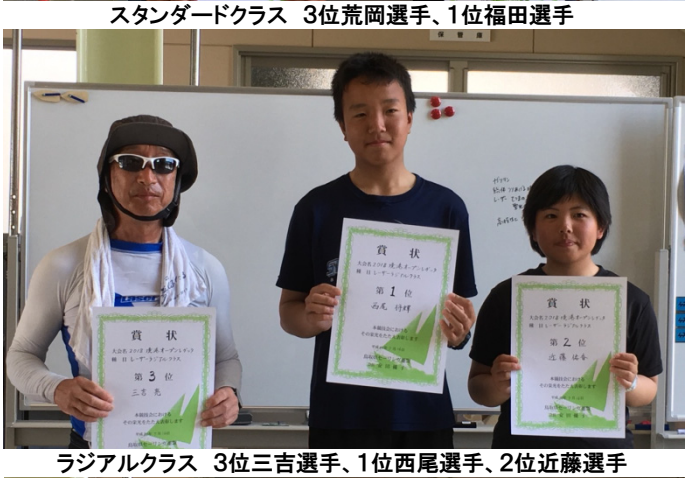
ラジアルクラス

1	西尾 将輝	208002	境港	6451
2	近藤 佑香	184027	光	6463
3	三吉 亮	208617	下関	3321
4	豊島 有壮	206904	光	6202
5	平岡 哲磨	148505	スポット	スポット
6	宮脇 慎平	207886	境港	6450
7	西元 雫	208011	境港	6570
8	松浦 匡	208005	境港	6575

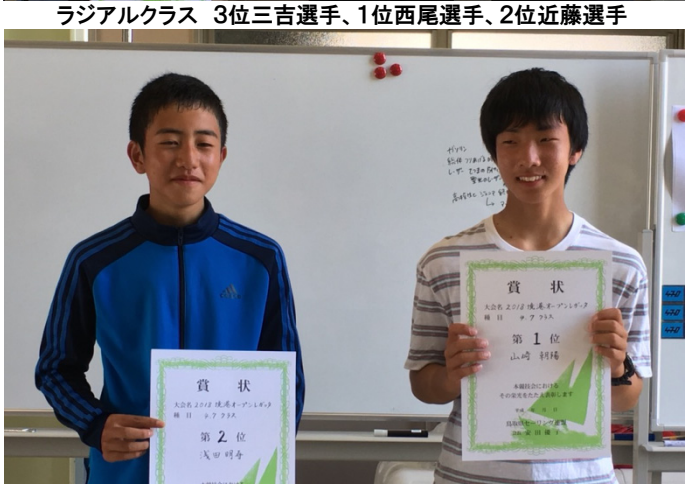
4.7クラス

1	山崎 朝陽	156065	境港	6576
2	浅田 明寿	156004	境港	6571
3	西元 萌	208000	境港	6574
4	下西 未瑚	156005	境港	6577

スタンダードクラス　3位荒岡選手、1位福田選手



ラジアルクラス　3位三吉選手、1位西尾選手、2位近藤選手



4.7クラス　2位浅田選手、1位山崎選手

ユースサマーレガッタ（7/27～29　神奈川県江ノ島）
暑い江ノ島に全国＆海外からもユース集合！！

中日を除けば天気、風共に恵まれた大会となりました。

上マークでは常に混戦です。

中央大学４年の岸祐花です。私は高校時代レーザー級で活動しており、現在大学ではヨット部に所属し、４年間スナイプ級に乗っています。どちらもハイクアウト！！という点は共通していますが、違う特徴と魅力のある種目です。
今回は、とても久々にレーザーラジアル級のレースに参加させていただくことができました。大会までは数回練習をする機会がありました。やはり特に動作の感覚を忘れてしまっていることを実感しました。今回の目標は、レーザーのレース感覚を取り戻すこと、ハンドリング・戦術ともに基礎とルーティンを着実にこなすことを意識すること、そして、高校生に負けないこと！でした。またその中で、今後のスナイプ級の活動にも生かせるような課題などを見つけることも目標でした。

簡単にレース内容を振り返りたいと思います。

＊7月 27 日　大会１日目
午前中に計測を行い、午後からレースを行いました。終始北東から強い風が吹いており、夕方までみっちり４レースを消化することができました。
たくさん反省点はあったのですが、一番に北風特有の乱れた細かな波に翻弄された一日でした。特に波を正面から受けるポートのレグで波に対応したはしりをすることができず、どんどんおいていかれてしまう展開が多かったです。また、クローズの自信のなさ故に対艇のレース展開を放棄して集団から離れてブローを狙いに行く危ないコースを引いてしまうことが多かったのが大きな反省点です。
オーバーなコンディションの中で、いかにバランスを一定に保ち、乱れた波の中でもそれに対抗できるハンドリングをするか、波に叩かれた後のロスをなくすか、という点を研究する必要があると感じました。他の艇種にも大きく通じる部分なので、普段から意識して練習に臨みたいと思いました。
この日はレース後パーティも開催されました！ボリューミーでおいしいごはんと豪華な景品をかけたじゃんけん大会もあり、とても楽しい会でした。私がレーザー級で活動していたのはもう４年も前、、なので面識のある選手はあまりいませんでしたが、このパーティでフレッシュな高校生とも知り合うことができ、有意義な時間でした。

＊7月 28 日　大会２日目
台風の影響でレースを行うことができませんでした。

＊7月 29 日　大会最終日
大会最終日は、台風の影響なのか、珍しく東風が吹いていました。１レース目は東よりの風でスタートしたのですが、徐々に南風にまわる展開でした。私はその展開を読むことができず、最後まで集団の左に位置してしまっており、巻き返すことができませんでした。普段の傾向や海面を考慮すると十分右に回ることを予測できたのに加え、右集団が多数派だったのにも関わらず最後まで左を選択しまったのは大きなミスです。
２レース目以降は南の順風の中、計４レースを消化しました。
３日間を通して軽８レースを消化することができました。私はオープン参加ながら総合８位という不甲斐ない結果に終わってしまいましたが、得るものはたくさんあるレースでした。

細かな技術や戦術における課題はもちろんですが、練習は自信につながり、その自信はレースにおいてとても重要なものだと改めて実感しました。私の性格も関係しているのかもしれませんが、スタートに関してもコースに関しても、ハンドリングやスピードに自信がないとどうしても逃げのレースをしてしまいます。圧倒的な自信をつけるためにも、誰よりも練習することが大切であり、それがレースに大きく影響すると感じました。
今回久々に高校生主体のレーザーの大会に参加し、大学とはまた違った活気やアットホーム感があり、とても楽しかったです！また、海上での実際のレースのほかにも大会の一環として講習会も開催され、より各自がレベルアップできる内容であることも魅力だと感じました。レーザー級は基礎的なハンドリングやボートバランスの大切さが顕著に分かり、トレーニングできる種目だと思います。ダブルハンドに乗り忘れかけていたセーリングの基礎の大切な部分などを再認識することができたので、今後の活動に生かしていきたいと思います。
最後に、大会運営の皆様、関係者の皆様、素晴らしい大会をありがとうございました！
またレーザーの大会にもチャレンジさせていきたいです。

（江ノ島フリート　岸祐花）

景品に群がる選手たち。
表彰式用に残しておくか？という提案も、多数決で却下！
マストを GET した幸運な選手は･･･？

香港より遠征の Lumiere 選手。全レーストップと圧倒的でした。

ラジアルクラス1～4位

ラジアルクラス優勝の廣瀬選手。

私にとって今回のレースは国体選考を兼ねたレースだったので、一つ目の目標は優勝して神奈川県の代表になることでした。二つ目は八月に行われる世界選手権に向けた最終調整のレースとして自分をいい流れに持っていくという少し漠然とした目標でした。

結果として、今回は優勝して神奈川県代表になることもでき、レース内容も納得できるものが多くこの二つの目標が達成できたことはとても良かったと思います。

今大会は、国体選考を兼ねていたことや、世界選手権出場メンバーが全員参加していたことから、海面では全体を通して常に緊張感のあるなかでレースが行われていたように感じられました。実際に自分も初日は国体代表をかけた争いの緊張、最終日はワールドメンバーとの優勝争いの中での緊張と常にいいプレッシャーを感じながらレースを行うことが出来たと思います。

しかし、陸で行われるレセプションでは雰囲気は一転しレーザーのパーティーらしく、楽しいゲームを行い、美味しい料理をいただき、終始明るい雰囲気の中でのレセプションでした。

土曜日が台風の影響ノーレースになってしまったことだけが残念でしたが、それでも二日間共にいいコンディションの中計八レースも行うことができ、本当にいいレガッタに参加することが出来たなと思います。

大会運営やサポートをして下さった人への感謝を忘れずにこれからも練習に励みたいと思います。三日間本当にありがとうございました。

・自分のレース反省

今回のレースで良かったことは、中風域～強風域の中で常に安定していいボートスピードで走れたことです。特に風速が一番上がった初日第二レースでのクローズのボートスピードはとても良かったように感じられました。またコースも大きなミスをすることや、大きなリスクを背負うことなく安定したコース取りが出来たと思いました。

今回のレースで悪かったのはスタートです。致命的なスタートをしてしまった一レースを除けば、スタート後にしっかり走っていけるだけのスタートはしているのですが、艇団に対して遅れていなくても、ラインに対してへこんでいることが多々ありました。これでは国内レースでは何とかごまかせても、世界選手権では大きなロスになってしまいます。これが今回のレガッタで見つかった大きな課題だったので、世界選手権までに何とか修正していきたと思っています。

（江ノ島フリート　廣瀬翔大）

ラジアルクラス

順位	スキッパー	JLCA	フリート	Sail-No	1 R	2 R	3 R	4 R	5 R	6 R	7 R	8 R
1	廣瀬　翔大	6158	江ノ島	179339	4	1	1	4	5	2	2	19
2	桔川　翔太郎	6391	江ノ島	213155	11	3	3	6	1	1	1	11
3	西尾　拓大	6089	和歌浦	206901	3	4	17	9	2	5	4	1
4	水田　隆文	6039	芦屋	185356	1	2	6	1	26	4	9	9
5	桐井　航汰	6245	江ノ島	180159	10	7	2	3	7	7	3	6
6	白石　誉輝	6417	江ノ島	210513	8	6	5	7	8	11	11	3
7	前田　海陽	6184	広島	175453	14	17	8	15	3	3	12	2
8	岸　祐花	5910	江ノ島	150176	9	13	7	13	15	6	6	4
9	福田　廉	6346	津	178195	12	8	11	10	4	13	7	10
10	三浦　凪砂	6241	浜名湖	195676	5	11	9	8	13	8	10	12
11	大久保　優輝	6157	江ノ島	184018	6	10	16	2	10	12	13	13
12	松原　穂岳	6355	江ノ島	208965	7	12	4	5	19	25	14	5
13	三浦　帆香	6339	TokyoBay	196480	13	9	14	11	17	9	8	14
14	中島　優輝	6334	江ノ島	207418	16	18	22	24	6	20	15	15
15	岡田　大治	6230	江ノ島	196489	31	20	18	17	29	16	5	8
16	遠藤　海七希	6325	江ノ島	213154	15	16	13	18	32	14	21	20
17	服部　陸太	6513	江ノ島	145486	18	25	15	14	25	19	28	7
18	須永　笑顔	6492	江ノ島	151757	20	19	19	21	14	22	20	16
19	玉山　雄大	6296	蒲郡	212787	21	14	12	16	21	30	30	18
20	山口　留委	6281	江ノ島	196486	19	26	23	20	16	24	18	17
21	大村　杏奈	6285	江ノ島	151791	28	22	26	19	9	21	17	24
22	中村　迅之介	6382	江ノ島	140814	24	29	25	25	11	10	16	27
23	川戸　洋平	6210	津	177059	22	15	10	12	27	17	UFD	UFD
24	近藤　潤一郎	6104	松山	207431	17	24	28	26	12	31	24	23
25	伴　俊弥	6583	津	160264	23	21	21	23	24	18	29	25
26	西口　将司	6584	津	206178	25	28	20	22	18	26	31	22
27	太田　タケル	6446	津	154564	27	27	24	27	20	29	27	29
28	大槻　多恵美	6365	松山	207432	29	31	29	29	22	28	23	21
29	小屋　英美里	5578	江ノ島	214981	2	5	UFD	UFD	DNC	DNC	DNC	DNC
30	安河内　英治	236	江ノ島	206775	DNC	DNC	DNC	DNC	23	15	19	28
31	小林　栄翔	6483	申請手続き中	213162	32	23	31	31	31	23	22	32
32	田中　美空	6244	江ノ島	111509	26	30	27	28	30	32	UFD	30
33	太田　七海	5703	新潟	184048	DNC	DNC	DNC	DNC	28	27	25	26
34	谷川　壱星	6232	江ノ島	112690	30	32	30	30	33	33	26	31

４.７クラス

順位	スキッパー	JLCA	フリート	Sail-No	1 R	2 R	3 R	4 R	5 R	6 R	7 R
1	Ng Tsz Yat Lumiere	N/A	HKG	209946	1	1	1	1	1	1	1
2	Fung Long Hei Brian	N/A	HKG	179862	2	2	2	2	2	2	2
3	渡邊　信幸	6495	若洲	112659	5	3	3	3	4	4	5
4	森田　未都	6475	江ノ島	150176	4	RET	DNS	4	3	3	4
5	内田　瑠希也	6458	江ノ島	133167	3	4	RET	UFD	UFD	5	3
6	Richard　tsui	N/A	HKG	209950	DNC	DNC	DNC	UFD	UFD	6	DNS
7	吉岡　和月	6558	申請中	190954	DNC	DNC	DNC	DNC	DNC	DNC	DNC

７/27～29 の３日間、2018Laser サマーレガッタが開催されました。この大会は、夏に OP から４.７、４.７からラジアルに移行する選手が 11 月の全日本クオリファイを取得できるようにと企画され昨年から開催されていますが、今回は来月ドイツで開催されるラジアルユース世界選手権代表の派遣前合宿も兼ねています。

北は新潟、南は松山より高校生を中心に、ラジアルクラスは 34 名、４.７クラスは香港からの参加もあり、７艇が江ノ島に集結しました。江ノ島に台風 12 号が近づく中、28 日はノーレースとなりましたが 27 日、29 日とも良い風に恵まれ、ラジアルクラスは８レース、４.７クラスは７レースが成立しました。皆さまの普段の行いが良かったから（？）ですね。

搬送指示書をしっかり読んでおかないとだめだというレース委員長の思惑もあり、コースは帆走指示書に記載していた４パターンをすべて使用しました。また、27 日は帰着後、海上で撮影した映像を用いてミーティングを実施しました。選手にとっても運営にとっても良いトレーニングになったと思います。

レセプションは台風の影響もあり、突然１日前倒しすることに。今回ケータリングは用意しておらず、すべて自前で準備。野村さん始めお母さんサポーターの方々には大変負担を掛けた事と思います。美味しいお食事を提供頂き、本当にありがとうございました！

レセプション中には４.７ワールドの報告、ラジアルワールドに向けての抱負を述べた後、香港チームからもコメントを頂きました。彼らは将来オリンピック選手になるべく、小さい時からコーチを招聘しトレーニングに励んでいるそうです。日本人選手もスピーチの内容には興味津々でした。

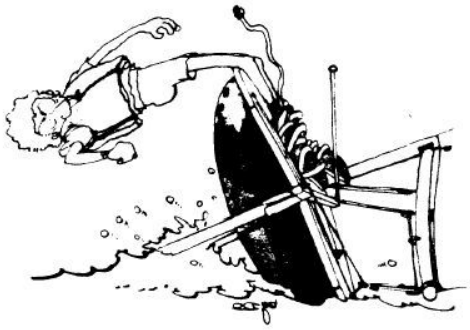
またパーティ恒例のじゃんけん大会ではパフォーマンスセイルクラフトジャパン社やルースター社から商品を多数提供いただきました。最大の目玉はトップマスト！欲深い選手達は皆、パーティ途中で帰ることもなくほぼ全員残っておりました。

（マストじゃんけんはさり気なく私も混ざっていましたが、選手間で多数決をとった結果、満場一致で強制排除。私も欲しかった。。。）スポンサーのみなさま、ありがとうございました！

最終成績ですが、ラジアルクラスは廣瀬選手が終始安定し、４.７クラスは Ng Tsz Yat Lumiere 選手がオールトップの快挙で優勝しました。来年は今年よりも多数の参加をお待ちしております！

（強化委員会　廣瀬一貴）

香港から参加した3選手＋コーチ。
日本にはレースで何回も来日しているとのこと。



みなさまお疲れさまでした！

秋の九州選手権　　（８/18～19　福岡市小戸）
暑くて長いパワフルレース！

第5レース　上マーク回航

芝選手と五十嵐選手のデッドヒート！！

８月 18～19 日、福岡県小戸ヨットハーバーで「レーザー秋の九州選手権大会」が開催されました。スタンダードクラス 15 艇、ラジアルクラス 30 艇がエントリー。全国からレーザーセーラーが集まりました。両日とも天候に恵まれ、秋の気配を感じるさわやかな風（5～6m/s）の中、福岡タワーを背景に全５レースが行われました。

スタンダードクラスは、圧巻のオールトップで南里研二選手が優勝。続く第二位には、ホスト福岡フリートの黒田武士選手が貫録の走りで準優勝に輝きました。
ラジアルクラスは、多田桃子選手が抜群の安定感で優勝。二位には妹さんの多田緑選手が入りました。ラジアルクラスは、特にユースセーラーの活躍が目立ちました。若い力に今後が楽しみです。
今大会はレーザーの大会では珍しいバス送迎型のレセプションでした。至れり尽くせりで、皆様 美味しいお料理とセーリングトークを思う存分楽しみ、交流を深めることができました。

閉会式では、各自のセール番号入りのトートバッグ（参加賞）が贈られ、さらに、５位、10 位、15 位…に選手にはサプライズで素敵なハットが贈呈されました。
最後に南里選手からユースセーラーにセーリングレクチャーがあり、大満足のうち幕となりました。

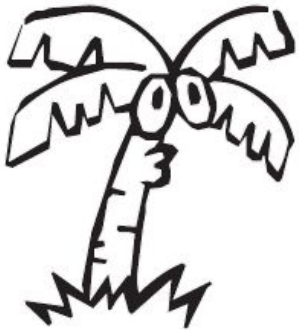
大会が終わった今も心に残っているのは、福岡フリートの皆様のあたたかいおもてなしです。スムーズなレース運営、帰着時の美味しいカレーライス、そして笑顔のお見送り、本当にありがとうございました。小戸ヨットハーバーから見える夕焼けも格別でした。
また来年も参加したいと思います。

（大阪北港フリート　丸田杏）

閉会式後　集合写真

スタンダードクラス

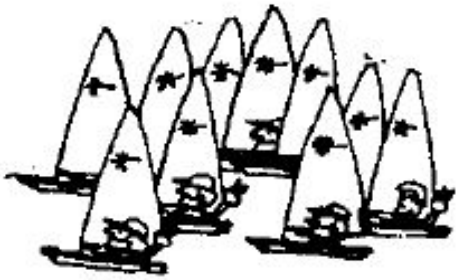
順位	名前	Sail №	フリート	JLCA	１Ｒ	２Ｒ	３Ｒ	４Ｒ	５Ｒ
1	南里 研二	211049	津	5524	1	1	1	1	1
2	黒田　武士	176881	福岡	3853	2	2	3	3	2
3	五十嵐 厚志	198066	材木座	5622	3	3	2	2	4
4	豊島　以知朗	211031	光	5916	4	8	5	4	3
5	芝 雅彦	196298	大阪北港	1510	10	5	4	6	6
6	末永 真	211047	北九州	4648	6	4	7	15	5
7	都　茂樹	213161	TokyoBay	3867	9	6	6	10	13
8	森崎　邦弘	207444	長崎	6314	8	7	8	8	8
9	岩城　海都	184010	鹿児島	5913	5	12	11	5	RET
10	古水　次郎	154063	北九州	4864	7	11	10	11	7
11	花田　康行	166992	北九州	4678	11	9	9	14	11
12	奥田　耕大	162548	熊本	6447	15	10	13	12	9
13	若林　宏	182301	山口	申請中	14	15	15	7	12
14	片岡　裕行	163986	松山	5073	13	13	12	13	10
15	橋本　浩太郎	156010	山口	5816	12	14	14	9	14



ラジアルクラス

順位	名前	Sail №	フリート	JLCA	１Ｒ	２Ｒ	３Ｒ	４Ｒ	５Ｒ
1	多田 桃子	214976	津	5514	1	2	3	3	2
2	多田　緑	208953	唐津	5683	2	1	2	6	3
3	上園田　心太浪	201548	別府	6356	4	4	4	8	1
4	黒田　浩渡	211902	津	6228	7	3	1	7	4
5	豊島　有壮	206904	光	6202	3	18	8	2	7
6	元尾　帆斗	156119	申請中	6375	8	6	9	1	6
7	御厩 夏颯	214412	福岡	6131	5	12	7	4	8
8	丸田 杏	2105171	大阪北港	6257	11	5	5	9	5
9	杉田　修康	154572	福岡	5881	10	9	11	10	10
10	三吉　亮	208617	下関	3321	15	10	6	17	13
11	石原　大地	156084	鹿児島	申請中	6	19	19	5	17
12	原田　高歩	164166	唐津	1362	17	7	12	16	14
13	山下和希	208602	宮崎	申請中	19	11	16	12	11
14	宮崎　朝光	169673	福岡	6526	18	14	10	15	18
15	畠　正和	173733	山口	5818	16	15	14	18	12
16	山本　英二	190950	TokyoBay	3114	14	17	15	20	16
17	鈴木　杏依子	175164	宮崎	6537	12	16	21	14	21
18	安藤　司	214977	申請中	6479	22	8	17	21	20
19	丸居　邦夫	190320	広島	3773	9	22	22	13	23
20	鶴本　優士	179333	高松	6491	13	20	20	19	15
21	花牟礼 誠	161283	熊本	3990	26	13	13	25	19
22	川瀬　晴久	211650	芦屋	6329	DNC	DNC	DNC	11	9
23	堀　孝之	206906	芦屋	申請中	20	21	18	UFD	RET
24	小林　祥典	151755	大阪北港	6196	21	23	24	26	22
25	久野　彰次	156017	津屋崎	5937	24	26	23	23	26
26	堤 虹葉	208963	松山	6103	25	28	26	22	24
27	松永　尚文	211033	福岡	6271	23	25	25	28	RET
28	竹中　緋悠	211048	申請中	6585	29	24	27	29	27
29	川上　幹郎	145712	境港	2750	28	29	RET	25	25
30	山田　　淳	150591	熊本	4626	27	27	RET	27	28

レポートを書いた丸田杏ちゃんデザイン
来年の鳥取県境港のレーザー世界選手権の
大会ロゴ入りウェア完成！！
めっちゃ速そう～！！！



EVENT & RACE SCHEDULE
イベント＆レース スケジュール

★ 以下の各催し物参加にはメンバー資格が必要です ★

Date	Notice Of Race / Event Notice
9/29-30	北信越選手権/野尻湖F ★☆
	http://sail.jpn.com/modules/docs/index.php?content_id=130
10/6-7	関西選手権/柳が崎F　柳が崎ヨットハーバー ★☆
	http://sail.jpn.com/modules/docs/index.php?content_id=129
10/20-21	中国選手権/下関F（※全日本クオリファイ対象外） ★
	特集ﾍﾟｰｼﾞ参照 http://sail.jpn.com/modules/docs/index.php?content_id=132
11/1-4	2018 Laser All Japan Championships/境港F　境港公共マリーナ ★
	特集ﾍﾟｰｼﾞ参照 http://sail.jpn.com/modules/docs/index.php?content_id=133
11/10-11	秋の東北選手権/仙台F 仙台松島ヨットハーバー ★☆
	漸次webにて発表 http://www.laserjapan.org/
2019/ 2/8-11	ミッドウィンターレガッタ/光F　山口県スポーツ交流村 ★☆
	漸次webにて発表 http://www.laserjapan.org/

- セーリング競技規則2017-2020・日本セーリング連盟規程・レーザークラス規則・レースの公示、（以上は帆走指示書による変更を除く）、および、帆走指示書が適用されます。
- ★＝各艇種別ランキング対象大会、☆＝All Japan Championshipsクオリファイ対象大会
- 内容は編集時のものです。詳細情報は問合せの上、ご確認ください。

エントリーフォーム

●切り取って、各地域の申込み担当者宛（住所・振込口座は上記）郵送してください。

受付No.	メンバー	エントリー費	1	2

レース委員会　様　　申込日：　　／

私は国際セーリング連盟規則、日本セーリング連盟規程、クラスルール及び帆走指示書を守る事を誓います。

署名

月　日～　日 の ＿＿＿＿＿＿＿＿ にエントリー申込み致します。

申　請　中

使用リグ(レース公示参照)：スタンダード・ラジアル・4.7　　Assn.No.　【当該年度払い込み済みのこと】

セイルNo.　　スキッパー名　　（男・女）☎

所属フリート　　（クルー名）　　（男・女）☎

住　所　〒

主催者扱
宿泊希望　YES・NO　　月　日～　日の（　）泊　男性　名　エントリー料￥＿＿＿＿、宿泊料￥＿＿＿＿
●伝　言　　女性　名　　現金書留で同封・当日支払(ペナルティ込み)
指定口座へ　月　日 振込済・振込予定

●内容は編集時のものです。最新情報は問合せの上、ご確認ください。

その他選考対象レース等

Date	Notice Of Race / Event Notice
9/30-10/3	国民体育大会／福井 ★☆
12/15-16	ジュニア・ユースクリスマスカップ／江ノ島 ★☆

平成 30 年度レーザークリニック

今年度もスポーツ振興基金の助成を受け、レーザークラスのクリニックを開催します。
多くのセーラーの参加をお待ちしています！

レーザークラス協会 強化委員会

Date	Notice Of Race / Event Notice
2019/1	ラジアル、4.7クリニック　九州
	鹿児島県平川ヨットハーバー

レーザークリニック

参加申込書

「　　」月「　　」開催のレーザークリニックへの
参加を希望します。

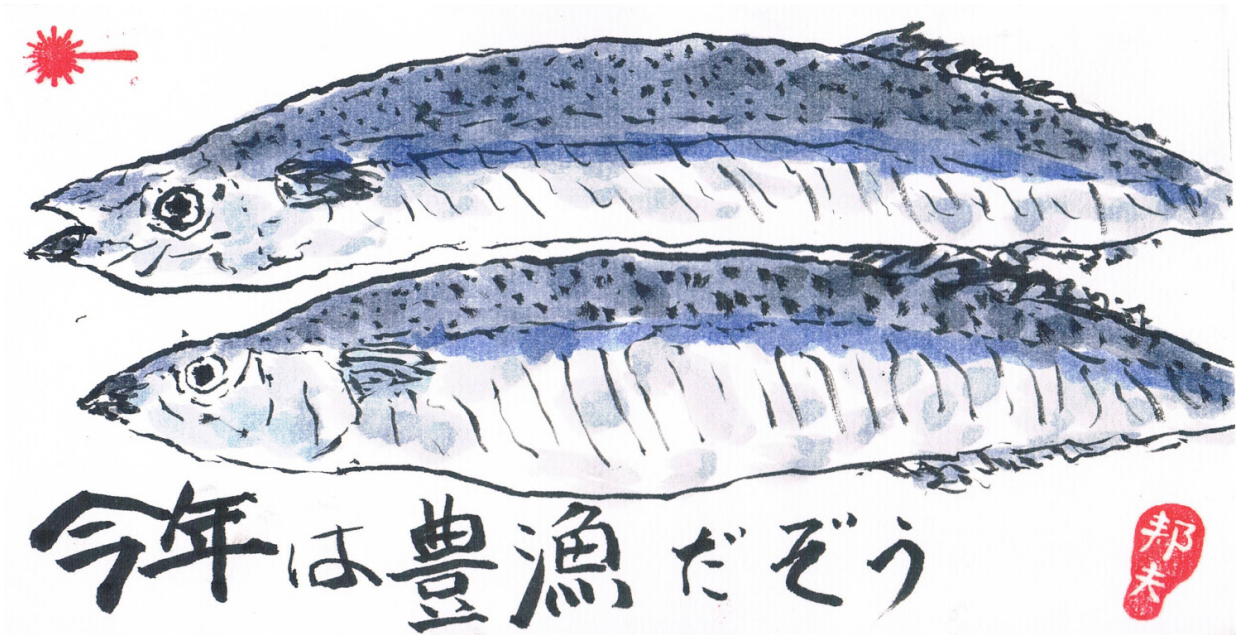
会員登録番号	
JSAF番号	

参加クラス	4.7　or　ラジアル　or　STD		
	＊参加希望クラスを〇で囲んでください。	氏名	
所属		フリガナ	
生年月日	年　月　日　歳	ローマ字	
現住所	〒		
	フリガナ：		
	電話：	FAX：	
	携帯電話：	E－mail　@	
緊急時の連絡先	電話：	本人との関係	
保護者	氏名：	本人との関係	
（　18歳以下の場合　）	住所、電話（現住所と異なる場合） 〒		
学校名	〒		
	学校名：　（学年　年生）		
	フリガナ		
	電話：	FAX：	

レーザーセーリング歴	年
大会成績記載欄	

＊大会成績および現在のセーリング可能風域を記載してください。

スポーツくじ toto BIG
私たちはスポーツ振興くじ助成を受けています。



EVENT information 大会要項

2018 Laser 秋の中国選手権
山口県下関市
2018 年 10 月 20 日-21 日

主催：レーザー下関フリート
協力：下関市セーリング連盟　水産大学校ヨット部
1．開催場所：下関市吉見古宿町 沖海面
2．開催期日：2018 年 10 月 20 日（土）～10 月 21 日（日）
3．競技種目：レーザースタンダードクラス
レーザーラジアルクラス
レーザー４.７クラス
4．適用規則：セーリング競技規則（2017-2020）に定義された規則を適用する。
（帆走指示書で変更されたものを除く）
5．参加資格：日本レーザークラス協会の 2018 年度メンバーであること。
6．参加申し込み及び問合せ先
大会への参加申込は、下記よりオンラインエントリーを行う。
http://sail.jpn.com
★ 問合せ先 レーザー下関フリートキャプテン 長本 好政
Tel：090-4378-3199 E-mail：laser83720@yahoo.co.jp
★ 参加申込締切：10 月 11 日（木）
※レイトエントリーフィーはプラス 2,000 円とする。
7．参加料： 8,000 円
（レセプション費用、21 日の昼の軽食代を含む）
レセプションのみの参加料は 4,000 円（中高生含む）
小学生 1,500 円
8． 帆走指示書：帆走指示書は、当日掲示板に掲示する。
9．艇と装備
艇は直径６mm 以上、長さ５m 以上のバウラインを搭載し、その一端はバウアイに結びつけられていなければならない。
マスト抜け止めを装備のこと。
10. 日程
10 月 20 日（土）
10：00 受付開始（レースオフィス）
11：00 開会式、スキッパーズミーティング
11：55（予定）第一レース予告信号、引き続きレースを行う。
18：00 レセプション（下関市セーリング連盟クラブハウス前）
10 月 21 日（日）
9：30（予定）当日最初のレース予告信号
引き続きレースを行う。
15：00 表彰式・閉会式
※20 日３レース、21 日２レース 全５レース予定
11. 得点方法
セーリング競技規則（2017-2010）付則 A の低得点方法を適用する。
本大会は５レースを予定し、最少１レースを持って成立する。
４レース以上実施の場合、１レースカットする。
12. 宿泊及びレセプション
宿 泊 各自で手配のこと
レセプション後、クラブハウスを開放しますので雑魚寝可能です。キャンプ、車中泊可です。
レセプションは、下関市セーリング連盟クラブハウス前にて行う。
13. チャーター艇
ハル、スパーのみ、チャーター料（3,000 円）
14. 責任の所在
本大会の主催者・関係各団体及びレース委員会は、大会前、大会中、または大会後に受けた人的損傷もしくは生命の喪失、または物的損傷に対するいかなる責任も負わない。
また、スタートするか、あるいはレースを継続するかどうかを決める責任は各艇にある。

以上

2018 Laser All Japan Championships
鳥取県境港市 境港公共マリーナ
2018 年 11 月１日-４日

主　　催：一般社団法人　日本レーザークラス協会
大会運営：日本レーザークラス協会、鳥取県セーリング連盟
公　　認：公益財団法人日本セーリング連盟 (申請中)
後　　援：鳥取県（予定）、境港市（予定）
境港市教育委員会（予定）、鳥取県体育協会（予定）
協　　力：鳥取県セーリング連盟
協　　賛：パフォーマンスセイルクラフトジャパン 他
競技種目：レーザークラス、レーザーラジアルクラス
レーザー４.７クラス

NOTICE OF RACE

1．適用規則
1.1. 本大会は 2017～2020 年国際セーリング規則（以下、規則）、クラスルール、SAILING INSTRUCTIONS、本 NOTICE OF RACE により行う。
1.2. 本大会の全ての規則を決定するのは次の通りとする。
1.2.1. **[DP]**は、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。
1.2.2. **[NP]**は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。

2．広告
2.1. 競技者広告は、クラスルールに定められたとおりとする。

3．参加資格
3.1. 以下の３点をすべて満たしていること。
3.1.1. 日本レーザークラス協会の 2018 年度メンバーであること。
3.1.2. 日本レーザークラス協会において年度の「All Japan Championships 参加資格」を確認されたものであること
参照 → http://www.laserjapan.org/archives/5672
3.1.3. 日本セーリング連盟(JSAF)の 2018 年度会員であること。
3.2. 日本セーリング連盟(JSAF)会員証および、日本レーザークラス協会会員証を受付時に提示すること。申請中で会員証を持参できない場合は、会費の入金確認のできる領収書または銀行振込書を必ず持参すること。
3.3 .当日、上記書類が揃わない場合、参加できない場合がある。

4．参加申込
4.1. 参加資格のある艇は参加申込締め切り日までに http://sail.jpn.com にてオンラインエントリーを行い、参加料の入金を確認できたことにより、申込を完了する。
4.2. 参加申込みの期日は **2018 年 10 月 20 日（土）**とする。レイトエントリーは行わない。

4.3. 参加申込締切日（10 月 20 日）後の不参加申し出については、参加料の返却はせず得点記録 DNC として記録する。参加申込締切日（10 月 20 日）以前の不参加申し出については、返金手数料（一律 1,000 円）を差し引いた金額を返却する。

5．参加料

5.1. 15,000 円（レセプション参加料を含む）下記口座に
10 月 20 日までに振り込むこと。
振込先：横浜銀行 長後支店 普通６１１１５６０
（イッシャ）ニホンレーザークラスキョウカイ

5.2. 付き添いの方等のレセプション参加料 2,000 円は大会受付にてお支払いください。

6．日程

6.1. 大会日程

	Date	Event	Time
Day1	11月１日 （木）	大会受付 計測	13:00-17:00 14:00-17:00
Day2	11月２日 （金）	大会受付・計測 開会式・ブリーフィング 第１レース予告信号 引き続きレースを行う。 レセプション	08:00-9:30 10:00 12:25 18:30
Day3	11月３日 （土）	ブリーフィング その日最初のレース予告信号 引き続き上記の順にレースを行う。	08:30 09:55
Day4	11月４日 （日）	ブリーフィング その日最初のレース予告信号 引き続き上記の順にレースを行う。 閉会式	08:30 09:55 16:00

ただし、天候その他の事情により日程はレース委員会の裁量で変更することがある。
最終日には、13 時 30 分より後に予告信号を発しない。
各日とも海上で昼食をとることがある。

6.2. レース数
クラス別に７レースの実施を予定する。

7．レース方式

参加艇数に応じて「２パートスタートライン」や、「フリート分けによる予選/決勝シリーズ」を行う場合がある。

8． 計測

8.1. 各艇は、計測を受けなければならない。
8.2. 計測は、テクニカル委員会の判断により、この他の日程に行われることがある。
8.3. 大会期間中、レース委員会は随時、艇または装備の検査をすることがある。

9． [DP] [NP] 安全

9.1 艇は、直径６㎜以上、長さ５m 以上のバウラインを搭載し、その一端はバウアイに結び付けられていなければならない。
9.2 マストトップに浮力体を取りつけても良い。形状は球形に限り、１箇所のロープで取り付けなければならない。コンディションにより、付けたり外したりしても良い。

10. SAILING INSTRUCTIONS

SAILING INSTRUCTIONS は 10 月 25 日までに大会サイト http://sail.jpn.com より入手できる。

11. 開催地

大会会場：境港公共マリーナ 鳥取県境港市新屋町３４５８番地
レース・エリア：添付図１に示す。

12. コース

・上一・下コース、またはトラペゾイドコースを予定している。

13. 得点

シリーズの成立には２レースを完了することが必要である。

14. 支援艇

14.1. 全ての支援艇は、大会ホームページで登録を行わなければならない。
14.2. 係留料は 500 円/日を受付時に支払うこと。

15. ドーピングコントロール

15.1. 本大会は、日本ドーピング防止規定に基づくドーピング検査対象大会である。
15.2. 本大会参加者は、エントリーした時点で日本ドーピング防止規定にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
15.3. 未成年で、承諾書を JASF へ未提出の選手は、下記リンクよりアンチ・ドーピング「未成年競技者親権者承諾書」を記入の上、受付時に提出すること。
参照リンク：http://jsaf-osc.jp/cn04/pg13-1.html

16. 賞

16.1. 各クラス、「レーザークラス規則付則」に基づき、成績上位者には「レーザーキューブトロフィー」が授与される。
16.2. 各クラスの All Japan Championships 優勝者（２位以降を含む）は「日本レーザークラス協会メンバー」に与えられる。

17. クオリファイ

「2019 年レーザー級全クラス世界選手権等代表選手選考方針」を参照のこと。

18. 責任の否認

競技者は完全に自らのリスクで大会に参加する。規則４「レースをすることの決定」を参照。
主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害若しくは死亡によるいかなる責任も負わない。

19. レガッタ不成立

強風、無風、降雪、地震等自然災害、事件、事故等によりレガッタ不成立の場合には、参加料の返金はしない。

20. 肖像権

競技者は、本レガッタに参加することにより、レガッタ期間中の競技者または競技者の装備に関する動画、写真等の映像について、その競技者に予告なく主催団体の判断で使用する権利を主催団体に与えるものとする。

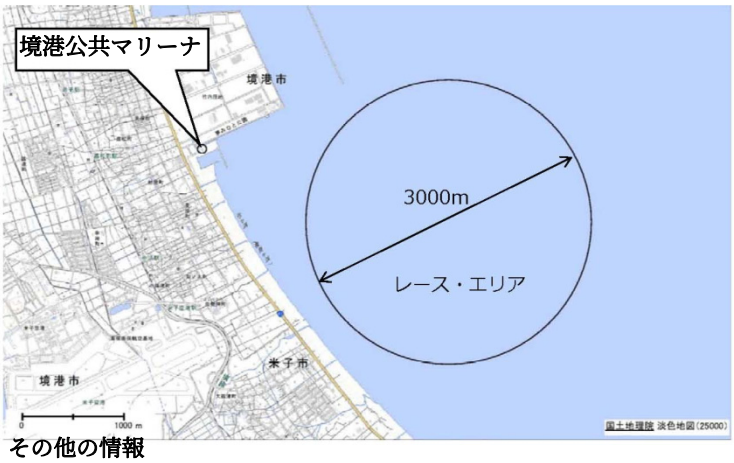
21. 保険

競技者は、有効な傷害保険と賠償保険に加入していなければならない。

22. 問い合わせ先

tottoriyacht31@yahoo.co.jp
鳥取県セーリング連盟 事務局

添付図 1 レース海面図



その他の情報

1．施設使用料　1500 円/艇を受付時に支払うこと。
2．支援艇　500 円/日を受付時に支払うこと。
3．宿泊　各自予約を行って下さい。
境港市観光協会 http://www.sakaiminato.net/
4．チャーター艇
20 艇を準備（ハル、スパー、フォイル、船台のみ）。
詳細はグレードごとにチャーターページに公示。
＊チャーター料は大会受付時払い。
＊チャーター艇を希望する選手は、大会ホームページ http://sail.jpn.com/ にて
9月10日から9月17日までに申し込みを行ってください。
希望者多数の場合、大会実行委員会により抽選及び配艇を行います。
チャーター艇抽選日：**9月 18 日**
チャーター艇抽選結果発表：
大会ホームページ http://sail.jpn.com/

スポーツ振興基金助成事業
独立行政法人日本スポーツ振興センター

CAPSIZE

今年度より材木座フリートキャプテンしてます堀田学です。材木座フリートの前は唐津フリート、北九州フリートで乗っていました。今は群馬県在住で片道３時間くらいかけて通っています。

材木座に来て半年ほど、まだピチピチピヨピヨだったある日、大先輩の大御所Ｙ氏より、「いつまで材木座Ｆに居られるの？」と聞かれ、「分かんないですけど３-４年ですかね。」、「じゃあ居る間にキャプテンやらなきゃ。」、「はい？♪・・・はい。。。」という断れるはずもない流れで、１年でサブキャプテン、２年でキャプテンというスピード出世？を果たし、何も良く分からない半人前以下のキャプテンとして現在に至ります。

材木座フリートは約 30 人くらい所属しており、学生さんはいませんが、老若男女、色々濃い人が揃っており、皆レース志向であーだこーだ言ってワイワイやっています。湘南連合の仲間の逗葉Ｆ、江の島Ｆのフリートレースにも参加でき、月３回はレースを楽しんでいます。練習やレースが終わると稲村ケ崎、江の島、時には富士山が見渡せるデッキにてフリート備え付けの自販機で買ったビールを飲む、という贅沢が味わえます。

お近くにお越しの際はぜひお寄りください。

FINISH LINE

「アマチュアレスリング女子」、「アメリカンフットボール」、「アマチュアボクシング」、「体操女子」等で、このところ、指導者のパワハラや体罰に関するニュースが続いている。「ヨット」に関しては、どうであろうか。

私が、「ヨット」に乗り始めたころ、先輩から「海の上でどなられても陸（おか）では気にするな。」、「海に出れば命を落とすこともある。」と言われた。特に海という自然を相手にするスポーツでは、ちょっとした判断ミスや怠慢が死亡事故の原因になりうるため、「安全のために海の上では厳しく（言葉で）指導する。」と言われたものと理解してきた。厳しく指導されるなか、ハイクアウトが苦しくて、ジブシートから手を放して、海に落ちたほうが楽じゃないかと思ったことはよくあったが、誤って海に落としたスナイプのセンターボード（昔の金属製の重いもの）を潜って取って来いと言われた経験はないし、潜ったこともない。

シングルハンダーであれば、ある程度年齢と経験を積めば、一人で自由気ままにセーリングを楽しむことができるが、現時点でクラブや学校での部活動としてセーリング活動を行っている若い人達は、先輩や先生、コーチから厳しく指導されていると思われる。ここでは、「競技成績の向上」のために厳しく指導される場面が当然多くなるが、根本は「安全で快適なセーリング技術の向上」のために厳しく指導されるものと考える。

11 月１日から 11 月４日までの間、境港公共マリーナで「2018 Laser All Japan Championships」が開催される。老若男女、参加者はすべて「競技成績の向上」を目指して日頃のトレーニングの成果を発揮するとともに、「安全で快適なセーリング」を行ってもらいたいと考えている。

（ニュース委員長　重松貴）

お薦めの書籍

Coach yourself to win 『勝利への道』

著者：ジョン・エメット
訳/出版：目黒たみを
監修：大谷たかを/荒井かおる

2012ロンドン五輪で中国のリージャシューを金メダリストに導いた名コーチ、ジョン エメットが勝つための道のりをやさしく解説した最新のディンギーバイブル本の和訳版！

価格（税別）　￥1,800

『必携厳選ルール　2017-2020』

著者：ブライアン・ウィリス
訳：荒井かおる
監修：大谷たかを

『コレさえあれば！ヨットレース』ヨットレーシングルールの第一人者ブライアン・ウィリスが、ルールに親しみながらマスターしてもらえるように全23ページに凝縮したシンプルなカードタイプ。

価格（税別）　￥926

Laser

Laser デジタルデッキコンパス　新商品

長さ：175mm
幅：140mm
高さ：110mm
重さ：約350ｇ

3M製デュアルロックファスナーでデッキ上に固定するTackTickデジタルコンパスとＦＲＰ製のブラケット。軽量かつコントロールロープの引っ掛かりがない美しいデザインに仕上がっています。

価格（税別）　￥53,000

Laser　事前告知

2019 Laser World使用艇販売のお知らせ

2019年鳥取県境港市にて開催されるLaserワールドで建造した新艇を、大会後に現地にて販売いたします。

事前予約受付割引（￥10,000引き）・現地引き渡し割引（￥10,000引き）
新艇や中古艇をご検討の方お勧めです！
（詳細は後日WEBにて掲載いたします）

仕様内容：ハル、スパー（コンポジットトップマスト、Std. or Radial ロアマスト、ブーム）、フォイル（オールインワンバッグ付き）SUS製トロリー（段積可）、デッキカバー（ライト）

パフォーマンス セイルクラフト ジャパン 株式会社
〒252-1114　神奈川県綾瀬市上土棚南3-13-31　Tel 0467-76-1051
E-mail ：shop@psjpn.co.jp　Fax 0467-76-1052